

# 第3次天草市総合計画

## (素案)

**基本構想** 令和5年度(2023年度)～令和11年度(2029年度)

**前期基本計画** 令和5年度(2023年度)～令和7年度(2025年度)

熊本県 天草市

## 【目 次】

総合計画の策定にあたって・・・・・・・・・・・・・・・・	1
第1節 総合計画策定の趣旨と背景	
第2節 役割	
第3節 構成と期間	
天草市の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	4
第1節 位置と地勢	
第2節 面積および土地利用	
第3節 人口	
第4節 産業構造	
第5節 財政状況	
天草市を取り巻く社会情勢と課題・・・・・・・・	9

## 基本構想

まちづくりの将来に向けて・・・・・・・・	14
第1節 私たちが目指す天草市の将来像	
第2節 将来像の実現のための理念（目指すこと）	
第3節 天草市のありたい姿	
第4節 将来推計	
第5節 財政予測	

## 前期基本計画

前期基本計画のあらまし・・・・・・・・	26
第1節 計画の目的	
第2節 計画の構成	
第3節 トータル・システムの更なる推進	
基本方針・・・・・・・・	26
第1節 政策方針	

## 総合計画の策定にあたって

### 第1節 総合計画策定の趣旨と背景

天草市では、平成19年(2007年)3月に市制施行後、最初の総合計画となる第1次天草市総合計画を策定し、基本理念「日本の宝島“天草”の創造」に基づき、新市のまちづくりを進めてきました。引き続いて平成27年(2015年)3月には、令和4年度を目標年次とし、『人が輝き 活力あふれる 日本の宝島“天草”』をまちづくりの基本理念とする第2次天草市総合計画を策定し、将来にわたって夢と希望に満ちあふれた宝の島の実現に向けたさまざまな施策に取り組んできました。

第2次天草市総合計画を策定してから8年が経ち、人口減少や少子高齢化を始めとするさまざまな課題など、本市を取り巻く社会経済情勢は刻々と変化し、また、新型コロナウイルス感染症などの新たな社会課題への対応に加え、SDGs（持続可能な開発目標）やDX（デジタルトランスフォーメーション）といった新たな視点への対応も求められてきています。さらに、今後の安定した行財政運営には、さらなる経営能力が求められるなど、本市の最上位計画である総合計画に基づく取り組みの重要性が高まっています。

本市の永年に亘る発展に向け、市民と行政がともに作り上げる天草市を目指すとともに、戦略的な行財政運営を行っていくことを目的に、第3次天草市総合計画を策定します。

## 第2節 役割

総合計画は、本市の将来像を明確に描き、これを市民と行政が共創して実現するためのまちづくり目標や基本的な方策を明らかにしたもので、総合的、長期的な計画であり、本市における最上位の計画として位置付けます。

- 1 本市の将来像と、それを達成するための市政の目標を総合的かつ体系的に示し、計画的に市政を運営していくための指針となるものです。
- 2 市民をはじめ各種団体や民間企業などに対し、指針を示し、理解と協力を得ながら、まちづくりへの参画を求めるものです。
- 3 国や県に対して、本市の主体的なまちづくりの方向性を明らかにし、計画の実現に向け、積極的な支援と協力を要請するものです。
- 4 第2次天草市総合計画に引き続き、総合計画を核とした自治体経営のトータル・システム（※1）を進めるものです。

※1「トータル・システム」とは、行政における全てのシステム（実施計画、予算編成、行政評価など）が、全体として機能するよう同じ方向に向いている状態のことをいいます。

## 第3節 構成と期間

総合計画は、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」によって構成し、それぞれ次のような位置付け、計画期間とします。

### 1 基本構想

基本構想は、本市のまちづくりの全領域にわたる長期的な目標である「将来像」、「理念」、「ありたい姿」を示すものです。

計画期間は令和5年度(2023年度)を初年度とし、令和11年度(2029年度)までの7年間とします。

また、将来像の実現に向け「環境指標」を設定し、取り組んでいきます。

### 2 基本計画

基本計画は、基本構想で掲げた将来像を実現するために、本市の現状と解決すべき課題を明確にしたうえで、総合的・体系的に示すものです。

その範囲は、本市が実施すべき施策を基本に、市民、民間及び他の公共団体などと協力しながら行う範囲も含めたものです。

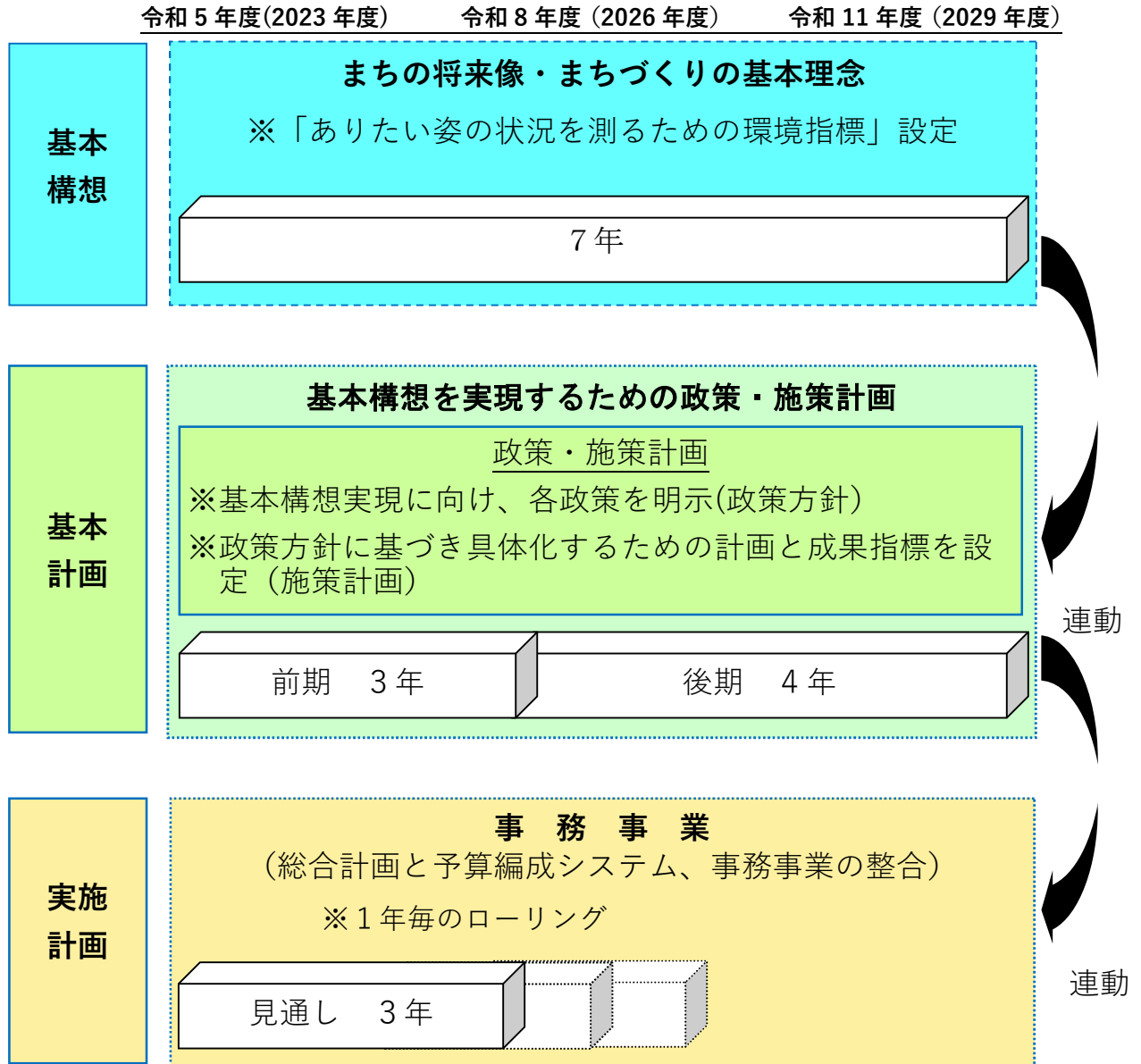
計画期間は、前期を令和5年度(2023年度)から令和7年度(2025年度)までの3年間とし、後期を令和8年度(2026年度)から令和11年度(2029年度)までの4年間とします。

3 実施計画

実施計画は、基本計画に基づく具体的な事務事業を示すものです。

計画期間は、その時々諸事情に的確に対応するため、市民ニーズの高いもの、より大きな政策効果を得られるものを計画的に実施していくため3年間とし、毎年、内容の見直しを行います。

<総合計画の構成イメージ>



## 天草市の概要

### 第1節 位置と地勢

本市は、熊本県南西部に位置し、周囲を藍く美しい海に囲まれた天草上島と天草下島および御所浦島などで構成する天草諸島の中心部に位置しています。県庁所在地の熊本市からは、車で約2時間を要し、最南端の牛深地域までは更に約1時間を要します。また、福岡・長崎・熊本・鹿児島を結ぶ九州西岸地域の拠点となる位置にあります。

地形は、そのほとんどが山林で占められ、急峻で平野部は少なく、河川沿いの平地部や海岸線の河口部に市街地や農地が展開し、市街地を結ぶように海岸線沿いに国・県道などが配置・整備されています。

産業は、温暖な気候を活かした農業や、豊かな水産資源を活かした漁業を主として発展してきました。また、国立公園に指定された自然景観、世界遺産に登録された崎津集落やキリシタン史跡や建物など、多くの地域資源にも恵まれています。

### 第2節 面積および土地利用

本市の総面積は 683.82 km<sup>2</sup> (令和4年(2022年)4月1日現在、国土地理院) で、県内市町村の中で最大を誇り、県土面積の約9%を占めています。

土地利用については、全体の約75%を農地・山林で占めており、宅地・道路用地については約6%となっています。

また、その大半が山林である中で、本渡地区と牛深地区に市街地があり、ほかの地区は限られた平坦部に集落が点在している状況です。

■地目別土地面積(令和元年(2019年)10月1日現在) (単位: ha、%)

総面積	田		畑		山林		原野	
	面積	割合	面積	割合	面積	割合	面積	割合
68,382	3,060	4.5	2,010	2.9	46,214	67.6	12	0.0

河川・水路		道路		宅地		その他	
面積	割合	面積	割合	面積	割合	面積	割合
3,449	5.0	2,524	3.7	1,870	2.7	9,243	13.5

(資料: 土地利用現況把握調査)

※割合は、少数第2位を四捨五入したものであり、合計しても必ずしも100とはなりません。

## 第3節 人口

### 1 人口および世帯数

令和2年（2020年）国勢調査の総人口は75,783人となっており、前回調査（平成27年（2015年））と比較して6,956人（約8.4%）減少しました。また、平成27年に推計した人口予測（76,323人）よりも540人下回っています。

世帯数は31,873世帯で前回調査に比べて1,351世帯減少しました。1世帯当たりの人員は2.38人と減少を続けているほか、高齢者のみの世帯が11,687世帯と総世帯の36.7%を占めています。

#### ■人口と世帯数の推移 （単位：人、戸）

区分	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
人口	96,473	89,065	82,739	75,783
世帯数	35,426	34,272	33,224	31,873
世帯当たり人員	2.72	2.60	2.49	2.38

（資料：国勢調査）

#### ■高齢者のみの世帯数の推移 （単位：戸、%）

	平成17年		平成22年		平成27年		令和2年	
	世帯	比率	世帯	比率	世帯	比率	世帯	比率
総世帯数	35,426	-	34,272	-	33,224	-	31,873	-
高齢者のみの世帯	9,819	27.7	10,252	29.9	11,004	33.1	11,687	36.7
一人暮らしの世帯	4,899	13.8	5,244	15.3	5,663	17.0	6,041	19.0
夫婦のみの世帯	4,920	13.9	5,008	14.6	5,341	16.1	5,646	17.7

（資料：国勢調査）

## 2 年齢階層別人口

年齢階層別人口は、令和2年（2022年）国勢調査によると年少人口（0～14歳）8,447人（11.1%）、生産年齢人口（15～64歳）36,097人（47.6%）、老年人口（65歳以上）31,239人（41.2%）となっています。県平均と比べてみると、生産年齢人口の割合が低く、老年人口の割合が高くなっています。経年的にみても、年少人口と生産年齢人口は減少する一方、老年人口は増加しており、少子高齢化の進行が顕著に伺えます。

### ■総人口および年齢階層別人口の推移

（単位：人、%）

	平成17年		平成22年		平成27年		令和2年		令和2年 県構成比
	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	
総人口	96,473	100.0	89,065	100.0	82,739	100.0	75,783	100.0	100.0
0～14歳	13,514	14.0	11,288	12.7	9,832	11.9	8,447	11.1	14.2
15～64歳	53,127	55.1	47,773	53.7	42,098	50.9	36,097	47.6	59.8
65歳以上	29,816	30.9	29,868	33.6	30,809	37.2	31,239	41.2	26.0

（資料：国勢調査）

※総人口には年齢不詳者を含むため、年齢階層別人口の合計とは一致しません。

## 3 産業別就業者数

産業別就業者数は、令和2年（2022年）国勢調査によると第1次産業就業者4,294人（12.2%）、第2次産業就業者5,832人（16.6%）、第3次産業就業者は24,815人（70.7%）となっています。県平均と比較すると、第1次・第3次産業が若干高い割合を示している一方、第2次産業の割合が低くなっています。

また、経年的にみると、就業人口総数の減少に伴い、すべての産業で就業者は減少傾向にあります。

### ■産業別就業者数の推移

（単位：人、%）

	平成17年		平成22年		平成27年		令和2年		令和2年 県構成比
	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	
就業人口総数	43,118	100.0	38,904	100.0	37,456	100.0	35,076	100.0	100.0
第1次産業	7,128	16.6	5,779	15.0	5,064	13.5	4,294	12.2	8.9
第2次産業	8,390	19.5	6,460	16.8	6,290	16.8	5,832	16.6	21.2
第3次産業	27,533	63.9	26,292	68.2	26,079	69.7	24,815	70.7	69.9

（資料：国勢調査）

※就業人口総数には産業分類不能者を含むため、就業人口総数の合計とは一致しません。



## 第4節 産業構造

### 市町村内総生産

令和元年度（2021年）市町村民経済計算における市内総生産額の現状は、平成30年度（2020年）と比較して、総生産で2.5%増加しています。

産業全体で見ると2.7%の増加となっており、産業項目別では、建設業において30.1%と大きく増加し、ついで運輸・郵便業が9.6%、専門・科学技術、業務支援サービス業が6.9%の増加となっています。減少が大きかったのは農業で14.0%、次に宿泊・飲食サービス業が4.9%、林業が4.4%となっています。

■市内総生産の状況

（令和4年5月31日公表）

項目	実数			対前年度増加率		増加寄与度
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成30年度	令和元年度	
1 農業	5,871,218	5,169,955	4,444,860	▲ 11.9	▲ 14.0	▲ 0.3
2 林業	1,048,448	1,066,396	1,018,981	1.7	▲ 4.4	▲ 0.0
3 水産業	7,545,821	6,837,539	6,750,133	▲ 9.4	▲ 1.3	▲ 0.0
4 鉱工業	13,377,810	12,830,050	12,649,357	▲ 4.1	▲ 1.4	▲ 0.1
5 電気・ガス・水道・廃棄物処理業	15,908,452	11,950,968	12,551,521	▲ 24.9	5.0	0.3
6 建設業	12,259,035	13,263,968	17,252,552	8.2	30.1	1.8
7 卸売・小売業	24,213,160	23,870,506	23,632,863	▲ 1.4	▲ 1.0	▲ 0.1
8 運輸・郵便業	13,914,733	13,564,714	14,867,273	▲ 2.5	9.6	0.6
9 宿泊・飲食サービス業	7,574,321	7,406,214	7,042,792	▲ 2.2	▲ 4.9	▲ 0.2
10 情報通信業	3,390,602	3,285,385	3,356,853	▲ 3.1	2.2	0.0
11 金融・保険業	7,622,942	8,577,962	8,926,857	12.5	4.1	0.2
12 不動産業	21,276,702	21,860,376	21,180,442	2.7	▲ 3.1	▲ 0.3
13 専門・科学技術、業務支援サービス業	8,675,281	9,165,830	9,795,770	5.7	6.9	0.3
14 公務	17,392,052	17,480,445	17,396,939	0.5	▲ 0.5	▲ 0.0
15 教育	12,036,353	11,588,919	11,873,362	▲ 3.7	2.5	0.1
16 保健衛生・社会事業	40,188,658	39,812,967	40,684,950	▲ 0.9	2.2	0.4
17 その他のサービス	10,435,061	10,230,577	10,436,075	▲ 2.0	2.0	0.1
18 小計(1～17)	222,730,648	217,962,772	223,861,581	▲ 2.1	2.7	2.7
19 輸入品に課される税・関税	3,672,486	3,850,750	3,893,817	4.9	1.1	0.0
20 (控除)総資本形成に係る消費税	2,161,870	2,189,044	2,531,001	1.3	15.6	0.2
<b>21 市町村内総生産(18+19+20)</b>	<b>224,241,265</b>	<b>219,624,478</b>	<b>225,224,397</b>	<b>▲ 2.1</b>	<b>2.5</b>	<b>2.5</b>
(税額調整前)第1次産業	14,465,486	13,073,889	12,213,975	▲ 9.6	▲ 6.6	▲ 0.4
(税額調整前)第2次産業	25,636,845	26,094,019	29,901,909	1.8	14.6	1.7
(税額調整前)第3次産業	182,628,317	178,794,864	181,745,697	▲ 2.1	1.7	1.4

※単位四捨五入のため、合計が一致しない場合があります。

(単位:千円、%)

## 第5節 財政状況

本市の財政状況については、歳入において税収は、人口減少はあるものの安定した額で推移し、歳入の概ね4割を占める地方交付税は、平成28年度から令和2年度にかけて段階的縮減の影響で減少しています。市の借入金である市債は、道路や公共施設等を建設する際の財源ですが、将来負担の増加を抑制するために、毎年度、公債費の元金償還額を超えない範囲で借り入れるよう努めています。

また、歳出では、人件費において定員適正化計画に沿った職員数の削減が行われおり、決算額も減少しています。社会保障費である扶助費においては、概ね横ばいで推移していましたが、令和2年度から新型コロナウイルス感染症の影響により国の施策の拡充などで増加傾向にあります。公債費については、令和元年度において一時的に増加しましたが、金利の低下、借入額の抑制により概ね減少しています。公共施設整備を行う投資的経費は、年度により増減がありますが、「天草市庁舎建設事業」、「天草市複合施設整備推進事業」、「熊本天草幹線道路連絡街路事業」など大型事業の影響によるものです。

### 【歳入】

(単位：百万円)

年 度	平成 18	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	令和元	令和 2	令和 3
市税	7,459	7,407	7,535	7,583	7,564	7,627	7,593	
譲与税・交付金	2,847	2,321	2,079	2,174	2,225	2,174	2,459	
地方交付税	23,910	25,811	25,094	23,844	23,292	23,287	22,949	
分担金・負担金	583	606	584	580	541	455	333	
使用料・手数料	912	750	739	685	670	669	613	
国県支出金	7,600	10,013	10,708	11,215	9,871	10,639	21,946	
財産収入	96	122	262	168	134	123	117	
繰入金	13	1,705	1,047	3,766	4,306	2,715	2,543	
寄附金・繰越金・諸収入	2,665	2,654	4,090	3,550	3,541	3,804	4,002	
市債	4,847	5,602	4,440	5,904	6,852	9,211	5,351	
歳入合計	50,932	56,990	56,578	59,469	58,996	60,704	67,905	

### 【歳出】

年 度	平成 18	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	令和元	令和 2	令和 3
人件費	10,497	8,622	8,624	8,302	8,203	7,859	7,782	
扶助費	7,028	10,247	10,822	10,994	10,789	10,986	11,077	
公債費	7,708	6,807	7,021	6,884	6,763	7,217	7,124	
物件費	4,043	4,628	4,873	5,262	5,094	5,576	6,953	
補助費等	5,340	6,331	6,852	7,752	7,714	7,544	16,456	
繰出金	5,364	6,719	5,812	4,811	4,965	4,819	4,848	
積立金	1,296	868	1,511	2,208	2,389	1,945	1,841	
投資的経費	7,626	8,949	7,722	9,856	9,807	12,589	7,826	
その他	435	573	436	393	463	544	480	
歳出合計	49,337	53,746	53,674	56,462	56,187	59,079	64,388	

※数値は、決算数値。

※金額は表示単位未満を四捨五入したものであり、その内訳は合計と一致しない場合があります。

## 天草市を取り巻く社会情勢と課題

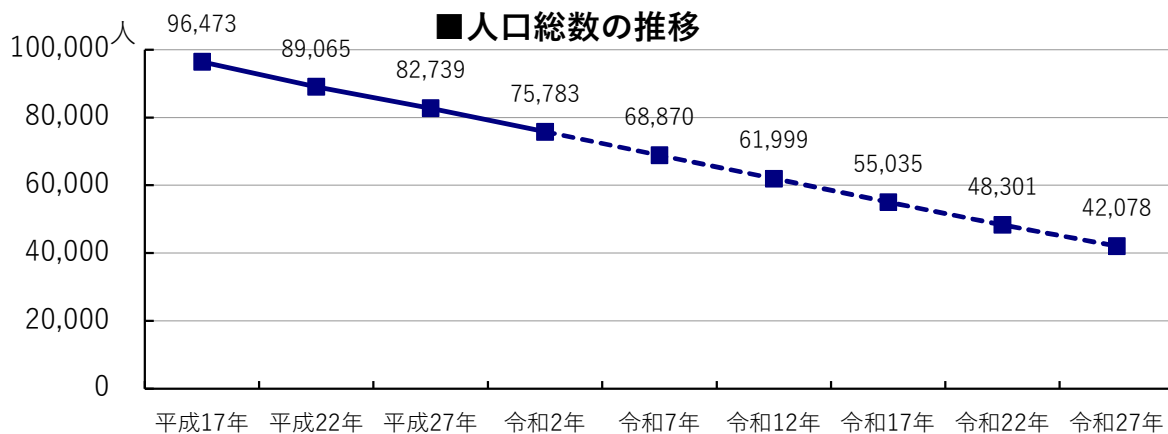
### ●人口減少及び少子高齢化の進行

我が国の総人口は、令和2年（2020年）の国勢調査の確定値では1億2,614万6,099人と、平成20年（2008年）の1億2,808万人をピークに減少しています。特に出生数の減少は急速に進み、令和2年（2020年）の出生数は過去最少となる83万1,824人となるほか、生産年齢人口の割合は総人口の半数程度59.2%まで落ち込む一方で、高齢化は進み、総人口に占める65歳以上の割合は28.7%となっています。

将来を支える子どもの減少、働き手である生産年齢人口の減少と高齢化の進行は、人口構造の変化をもたらし、労働力人口の減少を始めとする経済活動の縮小や地域コミュニティの活力低下、社会保障費の増大など、産業構造のみならず生活基盤の維持にも影響を及ぼすものと考えられます。

本市においても同様の状況であり、担い手不足による経済やまちづくり活動が停滞し、地域の活力が低下することが危惧されます。人口減少を緩やかなものとするためにも、子どもを産み育てやすい支援の充実、地元での雇用の場の確保、移住・定住の更なる促進、さらには、誰もが生きがいを持ち、全ての人が元気に活躍し続けながら安心して暮らせる仕組みづくりが求められています。

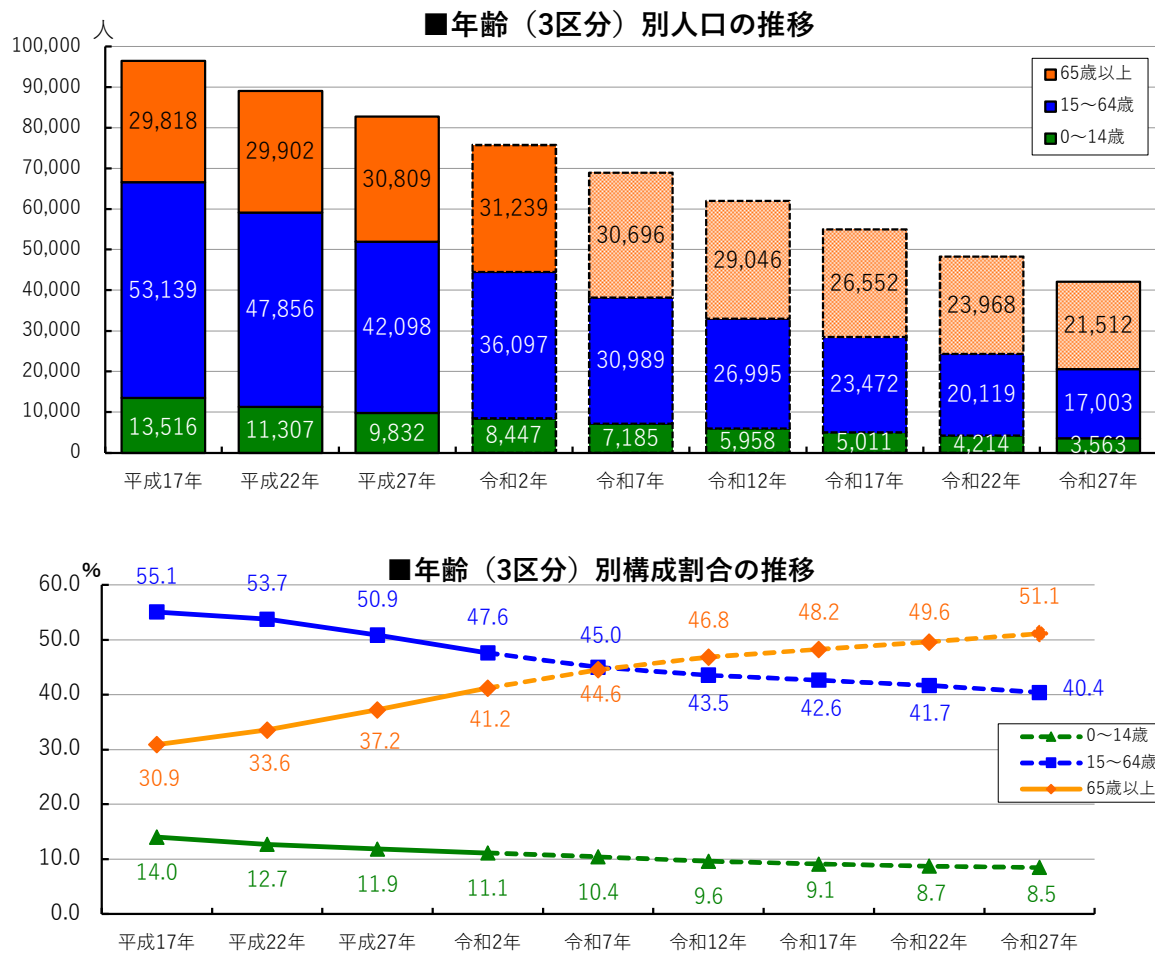
### ■天草市の人口総数の推移



※平成27年（2015年）～令和2年（2020年）年国勢調査の推移を基に、コーホート変化率法を用いて独自に算出した数値。

※コーホート変化率法：人口を年齢別に5歳ごとの階層に分け、各年齢層が5年ごとに1階層上がる際、どれだけ増減するかを計算する人口推計の一般的な方法のことです。

## ■天草市の年齢別人口と構成割合の推移



## ●地域経済の発展

本市の生産年齢人口が減少し続ける中、労働力人口における高齢化が進行している現状にあり、特に一次産業における労働力不足が顕著な状況となっています。また、新型コロナウイルス感染症は、人々の行動抑制による経済活動の低下や、個人消費の落ち込みなど、本市の地域経済や産業、市民の暮らしに大きな影響をもたらしています。これからの地域経済を発展させるためには、強みである豊富な地域資源を活かし、地域産業を担う人材の確保に向け、事業承継への取り組みや、若者の地元就職促進、移住・定住者等の多様な人材を受け入れる環境づくりなど、さまざまな施策を推進する必要があります。

このほか、首都圏一極集中の傾向が継続して進む中、デジタル技術を活用した働き方の変化に加え、地方の自然環境の中で生活することへの関心の高まり等により、地方に進出する企業や移住して起業する者など、新たな働き方、人の流れが生まれてきています。このような流れに対応し、地域経済を支える新たな産業分野の誘致も積極的に進めていくことが求められます。

## ●共助による地域活動の推進

本市においては、地域社会活動として、各地域において独自のさまざまな活動が行われています。しかしながら、地域活動を支える人口の減少と高齢化により、今後も継続していくことが困難となり、地域においてはコミュニティの維持が危ぶまれることが予想されます。地域が主体となって地域活動に取り組めるよう、地域における人々のつながり、共助による活動の推進に向けた支援が求められます。

また、ライフスタイルや個人の価値観は多様化しています。お互いが認め合い、支え合いながら、誰もが活躍できる社会づくり、生きがいを持った暮らしができる環境づくりに向け、市民と行政がつながり、共に多様性を認め合う社会づくりに取り組むことが必要となっています。

## ●シビックプライドによるまちづくり

人口減少、過疎化が進む中であっても、本市はもとより各地域のコミュニティを維持、活性化して行くためには、一人ひとりが地域への愛着と誇り、共感を持ち、地域をより良くすることへの関わりもつ「シビックプライド」の醸成が必要です。シビックプライドを持って、「地域（まち）を知る」取り組みを推進し、住み慣れた地域で市民がつながり、また、市民と行政がパートナーとなって地域の進むべき方向性を考え、協働して「みんなで創る」まちづくりが求められています。

※シビックプライドとは：まちへの「誇り」、「愛着」、「共感」を持ち、地域をより良くすることに自分自身が関わっている」という当事者意識を持っている考え方を示すものです。

## ●脱炭素、循環型社会、地球環境保全への対応

地球温暖化やマイクロプラスチック海洋汚染などの環境問題は、世界共通の課題となっています。本市においても、地域特性を踏まえた自然共生社会の実現、循環型社会の実現、温室効果ガス排出抑制するなど、市民や事業者と協調して、総ぐるみで歩みを進めていく必要があります。

また、本市は雲仙天草国立公園に指定され、美しい自然の景観や野生の動植物、歴史文化などの魅力にあふれています。これらの豊かな自然を守り、保全していくことで、自然と触れ合う機会を後世に伝えていかなければなりません。

## ●「誰ひとり取り残さない」SDGs 社会の実現

持続可能な開発目標（SDGs）は平成 27 年（2015 年）の国連サミットで採択された、令和 12 年（2030 年）までの国際目標です。SDGs の理念は、「誰ひとり取り残さない」であり、貧困の解決、健康と福祉、教育、ジェンダー平等などの社会目標、エネルギー、気候変動、海・陸の豊さを守るなどの環境目標、雇用、産業、消費などの経済目標が 17 の目標として体系的に整理されています。

SDGs の推進は国を挙げて進められており、本市においても、SDGs の達成に取り組むことは地方創生の実現に資するものでもあることから、国、地域、企業、個人が一体となって取り組んでいくことが求められます。総合計画を始めとする各種計画の中で、政策や施策計画との関連付けを行い、SDGs の実現に向けて積極的に取り組む必要があります。

## ●効果的な行財政運営の推進

本市を取り巻く社会環境の変化はめまぐるしいものがあります。新型コロナウイルス感染症は人々の働き方や生活様式、価値観に至るまで多大な影響を与え、また、近年の異常気象は浸水被害や土砂災害等の大規模な自然災害をもたらすなど、市民の命を脅かす甚大な影響も与えています。さらには、人口減少や高齢化社会への対応、地域経済の発展に向けた取り組みなど、刻々と変化する社会環境に的確に対応できる行政運営の体制構築が求められています。

このような状況に対応するためには、市民の市政への参画と協働による行政運営、DX（デジタルトランスフォーメーション）推進による効率かつ効果的な行政運営の推進、将来にわたる安定した財政運営を進める必要があります。

# 基本構想

---

---

## まちづくりの将来に向けて

### 第1節 私たちが目指す天草市の将来像

将来にわたって夢と希望に満ちあふれた宝の島の実現に向けて、市民と行政がともに知恵を出し合い、共に創るまちづくりを目指し、第3次天草市総合計画の最終年となる令和12年（2030年）の将来像を次のように定めます。

### 将来像

**ともしつながら 幸せ実感 宝の島“天草”**

天草市には、人情豊かな“ひと”と美しい自然や豊富な農林水産物、受け継がれてきた歴史や伝統文化など、多くの誇れる“地域資源”があります。これは素晴らしい宝です。

その中でも一番の宝である私たち“ひと”が地域を見つめ直し、何事にも他人ごとではなく“自分のこと・みんなのこと”としての気持ちを持ち、多様な価値観を認めながらともに手を取り合い、ともにチカラを合わせ、ともに地域資源を磨き上げていくことで、より光輝く魅力ある宝の島“天草”で日々暮らせることの幸せが実感できている姿を目指し、将来像を『ともしつながら 幸せ実感 宝の島“天草”』と定め、誰もが天草に誇りを持ち、心豊かに暮らせ、いつまでも住み続けたいと思える天草市を目指します。

※市民と行政がともにつくり上げる計画とするため、「私たち＝市民と行政」という表現を用いています。



## 第2節 将来像の実現のための理念（目指すこと）

将来像「ともにつながり 幸せ実感 宝の島“天草”」の実現に向け、市民と行政が共有する理念として次の4つを定めます。また、行政においても理念を定めます。

### 《理念》 ともに学びともに育つまち

天草の将来像を描くのは私たちという気持ちを持ち、ともに学び、ともに手をたずさえ、地域のつながりを深め、一人ひとりが自ら考え行動し活躍できるまちを目指します。また、歴史と文化を感じ、多様性を認め合い、誰もが感謝の気持ちを持ち、天草に愛と誇りをもてるまちを目指します。

### 《理念》 つながり稼げるまち

天草の農林水産業や商工業、観光業などの様々な産業がつながり、域内経済が好循環する新たな経済社会の仕組みを生み出し、“なりわい”を創出するとともに、誰もが安心して働ける場所があるまちを目指します。

### 《理念》 やさしさと安心のまち

天草の未来を担う子どもたちを育み、私たち一人ひとりがいつまでも元気に暮らし、お互いにやさしさと思いやりの気持ちを持ち、地域ぐるみで助け合い、支え合い、誰もが安心して住み続けられるまちを目指します。

### 《理念》 自然と共生するまち

天草の恵まれた自然を愛し、学びを通して自然環境の保全や自然資源の活用に取り組み、自然と共に生きられるまちを目指します。また、様々な分野と連携した取り組みにより、脱炭素社会の実現に向けたまちを目指します。

### 《理念》 挑み続ける行政経営

行政は、市民の視点に立ち、社会のあらゆる変化に部署を越えて総合力で対応するとともに、職員一人ひとりが最大限の能力を発揮できる組織づくりを目指します。また、安定した財源の確保と的確な投資による健全な財政運営を目指すとともに、効率的かつ効果的な行政システムにより、挑み続ける行政経営を目指します。

### 第3節 天草市のありたい姿

将来像「ともにつながり 幸せ実感 宝の島“天草”」を実現するため、理念（目指すこと）に基づく『ありたい姿』を19掲げます。

#### 理念：ともに学びともに育つまち

#### 1. 地域の個性や特色を生かした地域づくり活動や課題解決に向けた市民活動が活発に行われている

地域の個性や特色など強みを生かした協働による地域づくり活動の推進や、多様化・複雑化する課題を共有し、様々な分野で経験・知識・スキルを持つNPO等の市民活動団体などによる活発な市民活動が展開されるまちとなっています。

#### 2. 多様性を認め合い、互いを尊重するまちになっている

性別の違いをはじめ、高齢者、障がいのある人、外国人、性的マイノリティなど多様なニーズや課題に配慮され、また、女性の参画する機会が拡大するなど、一人ひとりの意識が向上し、誰もが多様性を認めあい、互いを尊重するまちとなっています。

#### 3. 生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができている

充実した教育環境の中で子どもたちが学んでいるとともに、様々な知恵や特技を持つ人材の発掘、専門的知識を持つ大学等との連携により、地域を担う人材の育成が行われています。また、子どもから大人まで生涯にわたり誰もが学ぶことができるよう多様な学びの機会が提供され、学習活動の成果を地域社会で生かすことができるまちとなっています。

#### 4. 歴史と文化を認め合い、天草に誇りを持ち継承されている

世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産となっている「天草の崎津集落」のほか、各地域には、地域固有の祭りや伝統芸能などがあります。これら天草の歴史や文化的価値や良さが再認識されるとともに、本物の文化芸術に触れる機会により、歴史と文化を感じ天草に誇りを持ち、次世代へ伝承されるまちとなっています。

**理念：つながり稼げるまち****5. 良質な農林水産物が生産され、産地力（生産者数×量）が維持・向上されている**

技術取得を含めた新規就業者への支援、生産基盤の整備や労働の省力化などの環境整備によって、豊かな自然の中から良質な農林水産物が生産され、生産性の向上、ブランド化による品質の向上と価格の向上が図れ、所得向上とともに魅力ある産業としての一次産業が活性化されたまちとなっています。

**6. ひとつづくり・ものづくりで郷土にやりがいを感じ、働ける場所がある**

これまで培われてきた事業の継承とともに、新たな職種に対応できる人材の育成と企業誘致によって、ひとつづくり・ものづくりが進められています。また、生産性の向上のための経営改善等による安定した経営支援により、やりがいをもって働ける場所があるまちとなっています。

**7. 魅力ある天草産品がつくり続けられ、域内経済が好循環となり、域外へ新たな販路が広がっている**

地産地消によって天草の魅力ある農林水産物や加工品の購入が促進され、また、生産されることで域内での経済循環が図れるとともに、天草産としての商品力が高まっています。さらに、生産・加工・流通・販売の一連の流れがつながることによって、販売力が向上し、域外への新たな販路が広がっています。

**8. 多様な地域資源を生かし、魅力ある観光のまちがつくられている**

天草の自然や歴史・文化など多様な地域資源が継続的に磨き上げることで、魅力が高められ、また、これらの点在する資源が面へと広がるための誘客によって、市民はもとより、観光客にも共感が生まれる魅力ある観光のまちとなっています。

**理念：やさしさと安心のまち****9. 市民が地域で生き生きと暮らしている**

子どもから高齢者、障がいのある人など、すべての人が健康で生きがいを持ち、日々生き生き過ごすことができている。また、地域でお互いに助け合い、支え合いながら安心して暮らせ、自分でできることは自分で、周りの人と一緒にできることは一緒に協働できるやさしく暮らせるまちとなっています。

**10. 安心して子どもを産み育てる環境ができている**

これからの担う全ての子ども達が心身ともに健やかに成長できるよう、妊娠から出産・育児までを一体的に取り組み、地域社会全体で子どもと子育て家庭を支え合い、安心して子どもを産み育てることができるまちとなっています。

**11. 市民が安心して暮らせる環境ができている**

日々の暮らしには欠かせない生活基盤が整い、景観に配慮したまちなみとなっています。また、機能的な道路、移動に必要な公共交通、上下水道、情報基盤などのライフラインの利便性が向上し、誰もが安心して暮らせるまちとなっています。

**12. 市民との協働による安心安全なまちづくりができている**

異常気象などによる災害などの際には、「自分の身は自分で守る」、「地域ぐるみでの防災」への支援体制の充実が図られています。また、犯罪や交通事故のない安心安全なまちづくりに全ての人が協働したまちとなっています。

**13. 天草での暮らしが共感され、多くの人に移住・定住している**

田舎暮らしに憧れ、移住を希望する人に天草の豊かな自然や市が取り組む子育て支援策などの情報が行き届き、住まいや就業など多様化する相談にきめ細やかなサポートがなされ、多くの人に移住・定住しているまちとなっています。

**理念：自然と共生するまち**

**14. 脱炭素社会への取り組みが浸透し、人と自然が共生し活発な環境保全活動が行われている**

自然環境を意識した一人ひとりの保全活動や再生可能エネルギーの導入による温室効果ガス抑制など、脱炭素社会の実現に向けた様々な取り組みがつながり、また、人と自然が共生した豊かな自然を地域の財産として後世に引き継がれているまちとなっています。

**15. 資源の循環が図られ、快適なまちづくりが行われている**

排出されるゴミが適切に処理され、資源としても活用されることで自然への負荷が軽減されています。また、快適な生活環境は一人ひとりの取り組みによって、資源の循環と快適な生活環境のまちづくり、自然とともに創るまちづくりが進められています。

**16. 豊かな自然と向き合い、保全・活用する仕組みができている**

天草の風光明媚な景観や豊かな生態系など魅力ある自然資源を知り、学ぶことで天草の自然を誇りに思うことにつながっています。また、そのための学びの場、情報発信の場、交流の場が図られ、人と自然がつながることで更なる魅力向上につながっています。

**理念：挑み続ける行政経営****17. あらゆる社会変化に対応した行政運営ができています**

刻々と変化する社会情勢や多様化する市民ニーズを的確に捉え、市民一人ひとりが幸せを実感しながら生き生きと暮らす生活を営むことができる行政運営が行われ、また、市民とともにつながり2030年の将来像の実現に向けた行政運営を行っています。

**18. 高い経営意識を持った財政運営ができています**

人口減少などによる普通交付税の減少など一般財源の減少が予測される中、行政においては、様々な財源の確保と重点的かつ効率的な配分といった高い経営意識を持ち、限りある財源を有効活用した持続可能で健全な財政運営を行っています。

**19. 市有財産が効率的かつ効果的に活用されている**

本市が所有する多くの公共施設は老朽化が進み、今後、大規模改修や建て替えに対応するため、計画的な改修を進めていくとともに、利用状況等を踏まえた施設の統合や廃止を行い、施設の効率的かつ効果的な活用が行われています。

〈総合計画基本構想の体系イメージ〉

将来像

ともしながらり 幸せ実感 宝の島“天草”

理念



ありたい姿

1. 地域の個性や特色を生かした地域づくり活動や課題解決に向けた市民活動が活発に行われている
2. 多様性を認め合い、互いを尊重するまちになっている
3. 生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができている
4. 歴史と文化を認め合い、天草に誇りを持ち継承されている
5. 良質な農林水産物が生産され、産地力（生産者数×量）が維持・向上されている
6. ひとづくり・ものづくりで郷土にやりがいを感じ、働ける場所がある
7. 魅力ある天草産品がつくり続けられ、域内経済が好循環となり、域外へ新たな販路が拡がっている
8. 多様な地域資源を生かし、魅力ある観光のまちがつくられている
9. 市民が地域で生き生きと暮らしている
10. 安心して子どもを産み育てる環境ができている
11. 市民が安心して暮らせる環境ができている
12. 市民との協働による安心安全なまちづくりができている
13. 天草での暮らしが共感され、多くの人が移住・定住している
14. 脱炭素社会への取り組みが浸透し、人と自然が共生し活発な環境保全活動が行われている
15. 資源の循環が図られ、快適なまちづくりが行われている
16. 豊かな自然と向き合い、保全・活用する仕組みができている
17. あらゆる社会変化に対応した行政運営ができている
18. 高い経営意識を持った財政運営ができている
19. 市有財産が効率的かつ効果的に活用されている

## 第4節 将来推計

### 1 総人口

本市の総人口は、今後も減少傾向が続き、令和11年(2029年)には約63,400人になることが予測されています。

年少人口は出生数の低下により年々減少傾向にあります。また、老年人口の割合は平成27年(2015年)に37.2%、令和12年(2030年)には46.8%となり、平成27年(2015年)と比較して9.6ポイント上昇しますが、老年人口数は徐々に減少していくと予想されます。また、生産年齢人口(15歳～64歳)は今後も減少し続けることが見込まれますが、子育て支援策や健康寿命の延伸などの取り組みのほか、地場産業の振興による雇用の場の確保、移住・定住の促進などにより、計画目標年次(令和11年)の人口を **65,000人** と設定します。

#### ■総人口および年齢階層別人口の推移と見通し

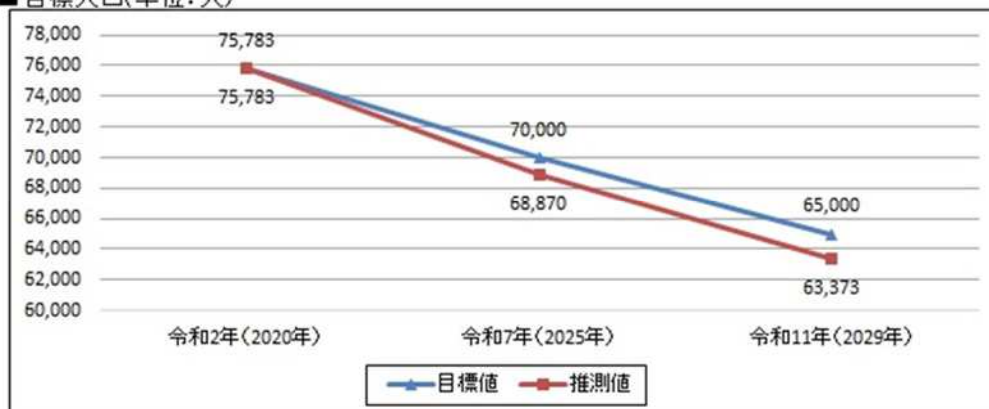
(単位：人、%)

	平成27年(2015年)		令和2年(2020年)		令和7年(2025年)		令和11年(2029年)	
	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
総人口	82,739	100.0	75,783	100.0	68,870	100.0	63,373	100.0
0～14歳	9,832	11.9	8,447	11.1	7,185	10.4	6,203	9.8
15～64歳	42,098	50.9	36,097	47.6	30,989	45.0	27,794	43.9
65歳以上	30,809	37.2	31,239	41.2	30,696	44.6	29,376	46.4

※2015(平成27)年～2020(令和2)年については国勢調査結果の数値、2025(令和7)年～2030(令和12)年はコーホート変化率法による推計数値。

※コーホート法：人口を年齢別に5歳ごとの階層に分け、各年齢層が5年ごとに1階層上がる際、どれだけ増減するかを計算する人口推計の一般的な方法のことです。

#### ■目標人口(単位：人)





## 2 就業人口

15歳以上の人口に対する就業率は、平成27年(2015年)は51.4%でしたが、令和2年(2020年)は52.4%と1.0ポイント増加しています。今後、労働力人口は減少していくことが想定されますが、産業の振興や企業誘致など魅力ある雇用の場の確保により、計画目標年次(令和11年)における就業人口総数を **32,000人**と設定します。

### ■総人口および就業人口(15歳以上)の推移と見通し

(単位：人、%)

	平成27年(2015年)		令和2年(2020年)		令和7年(2025年)		令和11年(2029年)	
	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
総人口	82,739	100.0	75,783	100.0	68,870	100.0	63,373	100.0
15～64歳	42,098	50.9	35,883	47.3	30,761	44.7	27,605	43.6
65歳以上	30,809	37.2	31,011	40.9	30,335	44.0	28,940	45.7
15歳以上計	72,907	88.1	66,894	88.3	61,096	88.7	56,545	89.2
就業人口総数	37,456	51.4	35,076	52.4	32,831	53.7	31,150	55.1

## 第5節 財政予測

本市の長期的な財政運営については、地方交付税が、令和3年度（2021年度）から一本算定になり、歳入に見合った財政運営が求められています。そのため、限りある財源を有効に活用するためには、自主財源の確保を推進するとともに、特に物件費・補助費等の単独事業については、トータルシステムを活用した事業の選択を行う必要があります。

また、合併特例債の発行期間が、令和7年度（2025年度）まで延長されましたので、大型事業及び公共施設の老朽化対策事業については、年度間での平準化を行い、後年度負担を考慮する必要があります。

### ■年次別財政計画（令和3年度改定）

【歳入】 (単位:百万円)

区 分	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
市 税	7,266	7,392	7,170	7,153	7,138
譲与税・交付金	2,390	2,390	2,408	2,408	2,408
地方交付税	22,299	21,918	21,718	21,444	20,589
分担金・負担金	290	287	284	281	279
使用料・手数料	636	629	623	617	611
国県支出金	11,544	10,277	10,172	10,180	10,168
財産収入	92	92	92	92	92
繰入金	2,166	2,105	1,720	1,627	2,381
うち財政調整基金繰入金	938	1,184	799	706	1,460
寄付金・繰越金・諸収入	1,633	1,803	1,798	1,793	1,788
市 債	6,849	5,469	6,123	6,044	3,969
歳入合計	55,164	52,362	52,109	51,638	49,422

【歳出】 (単位:百万円)

区 分	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
人件費	7,208	7,551	7,355	7,225	7,402
扶助費	11,191	11,207	11,225	11,246	11,271
公債費	7,072	6,833	6,554	6,364	6,062
物件費	6,289	6,201	6,139	6,113	6,017
補助費等	7,482	7,405	6,980	6,903	6,671
繰出金	5,083	5,106	5,169	5,194	5,230
積立金	596	596	614	614	614
投資的経費	9,501	6,731	7,351	7,267	5,454
うち普通建設事業(特別分)	5,851	3,081	3,701	3,617	1,804
うち普通建設事業(一般分)他	3,050	3,050	3,050	3,050	3,050
維持補修費・投資出資金・貸付金	742	732	721	711	701
歳出合計	55,164	52,362	52,109	51,638	49,422

※普通建設事業(特別分):スポーツ拠点施設整備事業、熊本天草幹線道路連絡街路整備事業など、一時的に多額の予算が見込まれる事業

※普通建設事業(一般分):道路や河川の整備など、継続的に予算が見込まれる事業

※令和4年度(2022年度)以降は見込み数値

※金額は表示単位未満を四捨五入したものであり、その内訳は合計と一致しない場合がある。

【財政調整基金・市債】 (単位:百万円)

区 分	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
財政調整基金現在高	8,428	7,281	6,518	5,756	4,333
市債現在高	51,667	50,326	49,914	49,610	47,536

※市債現在高は、普通会計の数値(総合計画の成果指標として使用しているため)

※令和4年度(2022年度)以降は見込み数値

# 前期基本計画

---

---

## 前期基本計画のあらまし

### 第1節 計画の目的

この計画は、将来像に掲げた『ともにつながり 幸せ実感 宝の島“天草”』の実現に向け、5つの理念に基づき、計画期間3年間（令和5年度（2023年度）から令和7年度（2026年度））の指針とするために策定するものです。

### 第2節 計画の構成

この計画では、将来像の実現に向け、計画期間内に取り組む政策と施策計画について記載しています。

また、政策ごとの現状と課題を整理し、それぞれの施策計画を示し、また、成果指標を設定して取り組むものです。

### 第3節 トータル・システムの更なる推進

第2次天草市総合計画で取り組んできた「総合計画を核とした自治体経営のトータル・システム」を更に推進し、行政システムの円滑な運用と事務事業のビルドアンドスクラップを徹底するとともに、引き続き各分野別計画との整合を図ってまいります。

## 基本方針

### 第1節 政策方針

本市が目指すまちの将来像の実現に向けて、40の政策を設定するとともに、施策計画（分野別計画含む）を掲げ、分野別に構成した8部門が取り組んでいきます。

### 第3次天草市総合計画基本構想「ありたい姿」と前期基本計画「政策」の関係

「ありたい姿」には主となる政策を位置付け、その実現に向けて取り組みます。また、主となる政策の他にも、関連する政策を明確にすることで、政策を横断的に展開し、つながりによる効果的な事業の推進に取り組みます。

ともに学びともに育つまち		
ありたい姿	政策	部門
1 地域の個性や特色を生かした地域づくり活動や課題解決に向けた市民活動が活発に行われている	1 市民一人ひとりが役割を持って活躍する地域づくりの推進	地域振興部門
	2 様々な分野における市民活動の推進	地域振興部門
	《関連する政策》	
	3 男女共同参画社会の推進	地域振興部門
	4 人権教育及び人権啓発の推進	教育部門
	6 次世代の担い手の育成	教育部門
	7 大学等との連携	教育部門
2 多様性を認め合い、互いを尊重するまちになっている	10 生涯学習の推進	教育部門
	3 男女共同参画社会の推進	地域振興部門
	4 人権教育及び人権啓発の推進	教育部門
	5 多文化共生社会の実現	教育部門
	《関連する政策》	
3 生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができている	21 障がい者（児）の自立と社会参画をめざした地域づくりの推進	保健・医療・福祉部門
	6 次世代の担い手の育成	教育部門
	7 大学等との連携	教育部門
	8 生涯学習の推進	教育部門
	《関連する政策》	
	1 市民一人ひとりが役割を持って活躍する地域づくりの推進	地域振興部門
	2 様々な分野における市民活動の推進	地域振興部門
	3 男女共同参画社会の推進	地域振興部門
	5 多文化共生社会の実現	教育部門
	11 活力ある持続可能な地域農業の振興	産業経済部門
12 林業の活性化による健全な森林整備	産業経済部門	
4 歴史と文化を認め合い、天草に誇りを持ち継承されている	13 資源を生かした持続的な水産業の振興	産業経済部門
	9 芸術文化の振興と歴史文化の保存・継承	観光・文化部門
	10 世界遺産とキリシタン史の保存・活用	観光・文化部門
	《関連する政策》	
	1 市民一人ひとりが役割を持って活躍する地域づくりの推進	地域振興部門
25 良好なまちなみの形成	都市基盤整備部門	

つながり稼げるまち		
ありたい姿	政策	部門
5 良質な農林水産物が生産され、産地力（生産者数×量）が維持・向上されている	11 活力ある持続可能な地域農業の振興	産業経済部門
	12 林業の活性化による健全な森林整備	産業経済部門
	13 資源を生かした持続的な水産業の振興	産業経済部門
	《関連する政策》	
	3 男女共同参画社会の推進	地域振興部門
	15 地産地消・地産他消の推進	産業経済部門
6 ひとつづくり・ものづくりで郷土にやりがいを感じ、働ける場所がある	33 移住・定住の推進	地域振興部門
	14 商工業の振興と多様な働く場の創造	産業経済部門
	《関連する政策》	
	3 男女共同参画社会の推進	地域振興部門
	11 活力ある持続可能な地域農業の振興	産業経済部門
	12 林業の活性化による健全な森林整備	産業経済部門
7 魅力ある天草産品がつくり続けられ、域内経済が好循環となり、域外へ新たな販路が広がっている	13 資源を生かした持続的な水産業の振興	産業経済部門
	15 地産地消・地産他消の推進	産業経済部門
	《関連する政策》	
	11 活力ある持続可能な地域農業の振興	産業経済部門
8 多様な地域資源を生かし、魅力ある観光のまちがつけられている	12 林業の活性化による健全な森林整備	産業経済部門
	13 資源を生かした持続的な水産業の振興	産業経済部門
	16 魅力ある観光の創造	観光・文化部門
	《関連する政策》	
	1 市民一人ひとりが役割を持って活躍する地域づくりの推進	地域振興部門
	6 次世代の担い手の育成	教育部門
	9 芸術文化の振興と歴史文化の保存・継承	観光・文化部門
	10 世界遺産とキリシタン史の保存・活用	観光・文化部門
	11 活力ある持続可能な地域農業の振興	産業経済部門
	12 林業の活性化による健全な森林整備	産業経済部門
13 資源を生かした持続的な水産業の振興	産業経済部門	
22 スポーツ・運動の推進	地域振興部門	
34 脱炭素社会の実現と自然環境の保全・共生	生活環境・防犯防災部門	
36 自然資源を活用した地域の魅力向上	観光・文化部門	

やさしさと安心のまち

ありたい姿		政策	部門
9	市民が地域で生き生きと暮らしている	17 健康寿命の延伸	保健・医療・福祉部門
		18 安心して医療、介護が受けられる体制の強化	保健・医療・福祉部門
		19 地域福祉の充実、支援	保健・医療・福祉部門
		20 高齢者の生きがいづくりの推進	保健・医療・福祉部門
		21 障がい者（児）の自立と社会参画をめざした地域づくりの推進	保健・医療・福祉部門
		22 スポーツ・運動の推進	地域振興部門
		《関連する政策》	
		1 市民一人ひとりが役割を持って活躍する地域づくりの推進	地域振興部門
		2 様々な分野における市民活動の推進	地域振興部門
		3 男女共同参画社会の推進	地域振興部門
10	安心して子どもを産み育てる環境ができてい る	9 芸術文化の振興と歴史文化の保存・継承	観光・文化部門
		23 子どもと子育て家庭への支援の充実	保健・医療・福祉部門
		《関連する政策》	
		1 市民一人ひとりが役割を持って活躍する地域づくりの推進	地域振興部門
		2 様々な分野における市民活動の推進	地域振興部門
		3 男女共同参画社会の推進	地域振興部門
		6 次世代の担い手の育成	教育部門
		8 生涯学習の推進	教育部門
		14 商工業の振興と多様な働く場の創造	産業経済部門
		18 安心して医療、介護が受けられる体制の強化	保健・医療・福祉部門
11	市民が安心して暮らせる環境ができてい る	19 地域福祉の充実、支援	保健・医療・福祉部門
		21 障がい者（児）の自立と社会参画をめざした地域づくりの推進	保健・医療・福祉部門
		22 スポーツ・運動の推進	地域振興部門
		24 機能的な生活基盤等の整備	都市基盤整備部門
		25 良好なまちなみの形成	都市基盤整備部門
		26 住環境の整備	都市基盤整備部門
		27 持続可能な上下水道	都市基盤整備部門
		28 情報化の推進	都市基盤整備部門
		29 公共交通による移動利便性の確保	地域振興部門
		《関連する政策》	
12	市民との協働による安心安全なまちづくりが できている	18 安心して医療、介護が受けられる体制の強化	保健・医療・福祉部門
		30 災害に強いまちの形成	生活環境・防犯防災部門
		31 消防・救助・救急体制の充実	生活環境・防犯防災部門
		32 防犯対策・交通安全対策・消費者保護対策の推進	生活環境・防犯防災部門
		《関連する政策》	
		1 市民一人ひとりが役割を持って活躍する地域づくりの推進	地域振興部門
		2 様々な分野における市民活動の推進	地域振興部門
		3 男女共同参画社会の推進	地域振興部門
		19 地域福祉の充実、支援	保健・医療・福祉部門
		24 機能的な生活基盤等の整備	都市基盤整備部門
13	天草での暮らしが共感され、多くの人が移 住・定住している	27 持続可能な上下水道	都市基盤整備部門
		28 情報化の推進	都市基盤整備部門
		33 移住・定住の促進	地域振興部門
		《関連する政策》	
		14 商工業の振興と多様な働く場の創造	産業経済部門
		23 子どもと子育て家庭への支援の充実	保健・医療・福祉部門
		26 住環境の整備	都市基盤整備部門

自然と共生するまち

ありたい姿		政策	部門
14	脱炭素社会への取り組みが浸透し、人と自然が共生し活発な環境保全活動が行われている	34 脱炭素社会の実現と自然環境の保全・共生	生活環境・防犯防災部門
		《関連する政策》	
		1 市民一人ひとりが役割を持って活躍する地域づくりの推進	地域振興部門
		2 様々な分野における市民活動の推進	地域振興部門
		6 次世代の担い手の育成	教育部門
		7 大学等との連携	教育部門
		8 生涯学習の推進	教育部門
		11 活力ある持続可能な地域農業の振興	産業経済部門
		12 林業の活性化による健全な森林整備	産業経済部門
15	資源の循環が図られ、快適なまちづくりが行われている	35 快適な生活環境の充実	生活環境・防犯防災部門
		《関連する政策》	
		1 市民一人ひとりが役割を持って活躍する地域づくりの推進	地域振興部門
		2 様々な分野における市民活動の推進	地域振興部門
		11 活力ある持続可能な地域農業の振興	産業経済部門
		12 林業の活性化による健全な森林整備	産業経済部門
16	豊かな自然と向き合い、保全・活用する仕組みができています	36 自然資源を活用した地域の魅力向上	観光・文化部門
		《関連する政策》	
		9 芸術文化の振興と歴史文化の保存・継承	観光・文化部門
		10 世界遺産とキリシタン史の保存・活用	観光・文化部門
		16 魅力ある観光の創造	観光・文化部門

挑み続ける行政経営

ありたい姿		政策	部門
17	あらゆる社会変化に対応した行政運営ができています	37 効率的かつ効果的な行政運営	総務・企画部門
		38 組織力・職員力の強化	総務・企画部門
		《関連する政策》	
18	高い経営意識を持った財政運営ができています	39 安定した財政運営の推進	総務・企画部門
		《関連する政策》	
		37 効率的かつ効果的な行政運営	総務・企画部門
		38 組織力・職員力の強化	総務・企画部門
		40 市有財産の経営的な視点による管理運営の推進	総務・企画部門
19	市有財産が効率的かつ効果的に活用されている	40 市有財産の経営的な視点による管理運営の推進	総務・企画部門
		《関連する政策》	
		39 安定した財政運営の推進	総務・企画部門

**理念：ともに学びともに育つまち**

1. 地域の個性や特色を生かした地域づくり活動や課題解決に向けた市民活動が活発に行われている

- 政策 1. 市民一人ひとりが役割を持って活躍する地域づくりの推進  
政策 2. 様々な分野における市民活動の推進

《関連する政策》

- 政策 3. 男女共同参画社会の推進
- 政策 4. 人権教育及び人権啓発の推進
- 政策 6. 次世代の担い手の育成
- 政策 7. 大学等との連携
- 政策 10. 生涯学習の推進



- ありたい姿** 1. 地域の個性や特色を生かした地域づくり活動や課題解決に向けた市民活動が活発に行われている

## 政策 1. 市民一人ひとりが役割を持って活躍する地域づくりの推進

### 現 状

- ・地域づくりを担う住民自治組織として 10 地域のまちづくり協議会及び 51 の地区振興会があります。
- ・世帯構造が変化する中で、地域コミュニティ活動に対するニーズが多様化・複雑化しています。
- ・住民自治の確立と自立した地域づくりを進めるため、様々な地域コミュニティ活動が行われています。

### 課 題

- ・地域コミュニティ活動に対するニーズが多様化・複雑化する中で、行政による画一的なサービスだけでは限界が見えはじめています。
- ・持続可能な地域づくりを行う担い手が不足しています。
- ・住んでいる地域のことを一番よく知っている市民一人ひとりが、地域の将来像や課題を共有することが必要です。
- ・地域の個性や特色などの強みを活かし、その魅力を磨きあげるための取り組みが必要です。

### 施策計画

#### 1. 協働による地域づくりの推進

- ・まちづくり協議会、地区振興会及び行政区並びに地域の各種団体等を中心とした地域づくりの取り組みを支援します。
- ・地域の個性や特色を活かした活発な地域コミュニティ活動が行えるよう、地域が主体的に取り組む先進的な地域づくり事業に対して、支援を行います。

#### 2. 地域づくりを担う人材の育成・支援

- ・地域づくりを主体的に取り組む人材の育成に努めます。
- ・地域づくりを担う人材のネットワーク構築を支援します。
- ・市民一人ひとりが力を合わせて地域づくり活動に取り組むための意識啓発を図ります。

### 関連する SDGs ゴールマーク



この政策が関連する『ありたい姿』

3. 生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができている
4. 歴史と文化を認め合い、天草に誇りを持ち継承されている
8. 多様な地域資源を生かし、魅力ある観光のまちがつくられている
9. 市民が地域で生き生きと暮らしている
10. 安心して子どもを産み育てる環境ができている
12. 市民との協働による安心安全なまちづくりができている
14. 脱炭素社会への取り組みが浸透し、人と自然が共生し活発な環境保全活動が行われている
15. 資源の循環が図られ、快適なまちづくりが行われている

## 政策 2. 様々な分野における市民活動の推進

### 現 状

- ・地域社会における多様化・複雑化する課題については、行政による画一的なサービスでは十分に対応できず、NPO等の市民活動団体が新たな担い手となってきています。
- ・NPO等の市民活動団体は、様々な分野で多種多様な経験・知識・スキルを持ち、地域の課題解決に取り組んでいます。

### 課 題

- ・NPO等の市民活動団体は人材不足や活動資金不足となっているところが多く、自立かつ安定した運営基盤の強化が求められています。
- ・個人やNPO等の市民活動団体は個々の活動に留まっていることが多く、多くの人の共感を集めるための活動の情報発信や人的ネットワークの構築が必要です。

### 施策計画

#### 1. 市民活動団体の運営基盤強化による活動の充実

- ・NPO等の市民活動団体の運営基盤の強化を図るため、組織運営・法人化などの相談体制の充実、セミナーの開催などの支援に取り組めます。
- ・交流会や報告会などを通じて多様な人的ネットワークの拡大を図るとともに、新たな人材発掘の取り組みや学びの場の提供を進めます。

### 関連する SDGs ゴールマーク



### この政策が関連する『ありたい姿』

- 3. 生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができる
- 9. 市民が地域で生き生きと暮らしている
- 10. 安心して子どもを産み育てる環境ができる
- 12. 市民との協働による安心安全なまちづくりができる
- 14. 脱炭素社会への取り組みが浸透し、人と自然が共生し活発な環境保全活動が行われている
- 15. 資源の循環が図られ、快適なまちづくりが行われている

理念：ともに学びともに育つまち

2. 多様性を認め合い、互いを尊重するまちになっている

政策3. 男女共同参画社会の推進

政策4. 人権教育及び人権啓発の推進

政策5. 多文化共生社会の実現

《関連する政策》

政策21. 障がい者（児）の自立と社会参画をめざした地域づくり  
の推進

ありたい姿 2. 多様性を認め合い、互いを尊重するまちになっている

### 政策3. 男女共同参画社会の推進

#### 現 状

- ・政治や行政、経済などあらゆる分野において、方針決定や責任ある立場への女性の登用・参画は十分には進んでいません。
- ・男女共同参画センターを設置するなど、男女共同参画を推進する様々な取り組みを行ってきましたが、依然として社会全体の意識や実態が変わるまでには至っていません。

#### 課 題

- ・政治や行政、経済などあらゆる分野において、男女共同参画の視点からの多様な意見が十分に反映されているとは言えません。
- ・近年各地で頻発する災害においては、性別の違いをはじめ、多様なニーズや課題に対応した配慮が求められています。
- ・男女共同参画が進まない要因としては、長年にわたり人々の中に形成された固定的性別役割分担意識や性差に関する偏見・固定観念、無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）などがあります。

#### 施策計画

##### 1. あらゆる分野における女性の参画拡大

- ・市の審議会等における女性委員の登用率の向上を図ります。
- ・企業等に対するセミナー等を通して、女性の活躍推進やワーク・ライフ・バランスの理解を促進します。
- ・災害時の避難所などの対応に男女共同参画の視点を取り入れます。

##### 2. 男女共同参画社会の実現のための意識改革と環境づくり

- ・固定的性別役割分担意識や無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の解消に向けた啓発に取り組みます。

#### 分野別計画

天草市男女共同参画計画

#### 関連する SDGs ゴールマーク



この政策が関連する『ありたい姿』

1. 地域の個性や特色を生かした地域づくり活動や課題解決に向けた市民活動が活発に行われている
3. 生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができている
5. 良質な農林水産物が生産され、産地力（生産者数×量）が維持・向上されている
6. ひとづくり・ものづくりで郷土にやりがいを感じ、働ける場所がある
9. 市民が地域で生き生きと暮らしている
10. 安心して子どもを産み育てる環境ができている
12. 市民との協働による安心安全なまちづくりができている

## 政策 4. 人権教育及び人権啓発の推進

### 現 状

- ・天草郡市人権教育推進連絡協議会及び天草人権擁護委員協議会等の関係団体、幼稚園・保育所等、小・中学校、市民及び行政等が互いに連携し、研修会の開催など人権教育及び人権啓発に取り組んでいます。
- ・広報紙等を活用した人権教育・啓発活動に取り組んでいます。

### 課 題

- ・関係団体や関係機関等と連携し、あらゆる機会を捉えて人権教育研修会の実施や学習の機会を提供する必要があります。
- ・人権学習の機会の提供や人材育成、相談体制の充実を図る必要があります。

### 施策計画

#### 1. 人権教育及び人権啓発の効果的な推進

- ・市民の人権意識の高揚と人権教育の充実を図り、様々な人権問題の解決と一人ひとりの人権が尊重される担い手育成を目指します。
- ・関係団体、市民、幼稚園・保育所等、小・中学校及び行政等が互いに連携し、人権教育・啓発に関する取り組みを推進します。

### 分野別計画

天草市教育振興基本計画、天草市人権教育・啓発基本計画

### 関連する SDGs ゴールマーク



### この政策が関連する『ありたい姿』

1. 地域の個性や特色を生かした地域づくり活動や課題解決に向けた市民活動が活発に行われている

## 政策 5. 多文化共生社会の実現

### 現 状

- ・国際交流推進員を配置し、多文化共生及び国際交流の取り組み推進のため、国際理解講座などを行っています。
- ・外国人総合相談窓口の開設や日本語教室を開催するなど、居住外国人への支援を行っています。
- ・米国エンシニータス市と姉妹都市提携、韓国忠清大学校と官学協同に関する協定を結び、学生の派遣受入れの交流を行っています。

### 課 題

- ・市内全域に様々な国籍、在留資格の外国人が居住されており、細やかな外国人支援サービスを届けることが困難な状況にあります。
- ・外国人も地域社会を構成する一員、対等な関係の市民との意識を持つことが必要です。
- ・国際感覚豊かな人材育成が必要です。
- ・国際交流の取り組みに広く市民が参画できる仕組み・環境づくりが必要です。

### 施策計画

#### 1. 多文化共生の推進

- ・国籍や文化の違いを認め合い、誰もが安心して暮らせるまちづくりを推進します。
- ・外国人総合相談窓口の各支所設置や日本語教室の拠点開催などにより、外国人が住みやすい生活環境の充実を図ります。

#### 2. 国際化に対応した人材育成

- ・姉妹都市や連携大学等との交流を通じたグローバル人材の育成に取り組みます。
- ・市民の国際交流活動を支援します。

### 関連する SDGs ゴールマーク



### この政策が関連する『ありたい姿』

- 3. 生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができている



理念：ともに学びともに育つまち

3. 生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができる

政策 6. 次世代の担い手の育成

政策 7. 大学等との連携

政策 8. 生涯学習の推進

《関連する政策》

政策 1. 市民一人ひとりが役割を持って活躍する地域づくりの推進

政策 2. 様々な分野における市民活動の推進

政策 3. 男女共同参画社会の推進

政策 5. 多文化共生社会の実現

政策 11. 活力ある持続可能な地域農業の振興

政策 12. 林業の活性化による健全な森林整備

政策 13. 資源を生かした持続的な水産業の振興

ありたい姿 3. 生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができている

## 政策6. 次世代の担い手の育成

### 現 状

- ・主体的・対話的で深い学びを実現し生きる力を育成するため、外国語教育やICTの活用など魅力ある授業づくりに取り組んでいます。
- ・幼稚園、保育所等、小・中学校の交流・連携及び家庭、地域との連携に取り組んでいます。
- ・地域にある歴史や文化の価値を知り、ふるさと天草への思いを深めるための世界遺産学や豊かな自然の中での体験を通し自立した大人に育てるための取り組みを進めています。
- ・いじめ・不登校への対応、特別な支援を必要とする子どもたちへの支援に取り組んでいます。
- ・研修や市指定教育研究推進校の指定など指導法の実践的研究を行うとともに、教職員の働き方改革や不祥事防止に努めています。
- ・小・中学校及び公立幼稚園施設は、天草市学校施設個別施設計画及び毎年の点検結果に基づき、営繕やトイレ改修工事等を計画的に行っています。
- ・老朽化した共同調理場の営繕や改修工事及び調理器具の更新を計画的に行っています。
- ・熊本県の県産牛肉等学校給食提供推進事業と天草市の活力ある天草の水産業づくり事業を活用し、小・中学校及び公立幼稚園の給食に地元産食材を提供しています。

### 課 題

- ・知・徳・体をバランスよく成長させ、生きる力を身に付ける必要があります。
- ・幼稚園、保育所等、小・中学校の交流・連携及び家庭、地域との更なる連携が必要です。
- ・ICT機器の活用が一層求められています。
- ・体験教育の充実や特色ある学校づくりを進めるためには、地域との連携が必要です。
- ・道徳教育、人権教育、特別支援教育の推進及びいじめ・不登校問題の解消に向けた取り組みの充実が必要です。
- ・教職員の指導力向上のため、教職員研修や指導法の実践的研究が必要です。
- ・小・中学校、公立幼稚園及び共同調理場の長寿命化とバリアフリー化等により安全・安心な教育環境の実現を図る必要があります。
- ・地元産食材の使用及び食物アレルギーへの対応等、安心・安全な給食の提供が必要です。

## 施策計画

### 1. 学校教育の充実

- ・幼稚園、保育所等、小・中学校の連携の強化及び家庭、地域との連携充実を図ります。
- ・新しい時代を生き抜くための基盤となる力（確かな学力、豊かな心、健やかな体）を育みます。
- ・外国語教育やICTの活用など魅力ある授業づくりを行います。
- ・自立した大人に育てるため、地域と連携して、地域にある歴史や文化、豊かな自然の中で体験的な学習活動の充実と地域とともにある特色ある学校づくりを進めます。
- ・特別支援教育の支援体制の整備・充実、道徳教育、人権教育の推進、いじめ・不登校問題の解消に向けた取り組みの充実を図ります。
- ・学校現場における人材育成の観点からのOJTや、指導力を高めるための教職員研修を充実させるほか、市指定教育研究推進校を指定し、指導法の実践的研究を推進します。

### 2. 教育を支える環境づくり

- ・小・中学校及び公立幼稚園施設については、計画的に修繕・改修を行い、長寿命化を推進します。
- ・トイレ改修、バリアフリー化等を計画的に進め、安全・安心な教育環境の実現を図ります。
- ・ICT支援員を配置し、ICT機器等の更新を計画的に進めます。

### 3. 学校給食の充実

- ・地元生産者や関係機関と連携し、地場産の食材を活用して、地元の料理を取り入れた地産地消を推進します。
- ・老朽化している共同調理場を計画的に修繕・改修を行うことで、安心・安全な給食を提供します。

## 分野別計画

### 教育振興基本計画

## 関連するSDGs ゴールマーク



この政策が関連する『ありたい姿』

1. 地域の個性や特色を生かした地域づくり活動や課題解決に向けた市民活動が活発に行われている
8. 多様な地域資源を生かし、魅力ある観光のまちがつくられている
10. 安心して子どもを産み育てる環境ができている
14. 脱炭素社会への取り組みが浸透し、人と自然が共生し活発な環境保全活動が行われている

## 政策 7. 大学等との連携

### 現 状

- ・大学等が持つ人的・知的資源を活用し、多様化・複雑化する地域の課題解決や地域を担う人材の育成に取り組んでいます。
- ・専門的な分野において、連携事業に取り組んでいます。
- ・大学教授等の専門的な知見を活かし、各種審議会等の委員への起用を行っています。
- ・高校卒業後は、約 9 割が進学や就職のため市外へ転出しています。
- ・高等教育機関の設置又は誘致に向けた調査・研究に取り組んでいます。

### 課 題

- ・人口減少や少子・高齢化が進み、地域の産業やまちづくりを担う人材が不足しており、持続的な地域づくりに困難が生じています。
- ・大学等と連携して行う講座等への参加者の確保が難しい状況にあります。
- ・専門的な知識や技術を習得する機会が少ない状況にあります。
- ・高等教育機関が看護専門学校しかないため、大学進学等を目指す人材は転出せざるを得ない状況にあります。

### 施策計画

#### 1. 大学等と連携した人材育成と専門的支援

- ・大学等との協働による専門的な分野の調査・研究を進めます。
- ・各種審議会等の委員に専門的知見を持つ大学教授等の起用を推進します。
- ・大学等との連携により各種講座等を開催し、学びの場の確保に努めます。
- ・高等教育機関の設置又は誘致の検討を進めます。

### 関連する SDGs ゴールマーク



### この政策が関連する『ありたい姿』

1. 地域の個性や特色を生かした地域づくり活動や課題解決に向けた市民活動が活発に行われている
14. 脱炭素社会への取り組みが浸透し、人と自然が共生し活発な環境保全活動が行われている

## 政策 8. 生涯学習の推進

### 現 状

- ・市民のニーズや地域の特色を活かした公民館講座など学びの機会を提供しています。
- ・青少年の健全育成に関する情報提供及び家庭教育支援のための講座等開催による意識啓発に努めています。
- ・複合施設ここらすや地区コミュニティセンター等は、様々な学びの場や市民活動の場となっています。
- ・様々な知恵や特技を持つ人材を発掘し、子どもたちの学習支援及び地域行事、郷土芸能などを伝承する機会をつくり、地域と学校との連携・協働の推進に取り組んでいます。
- ・社会教育施設の複合化を図るとともに、施設ごとの管理運営方針等に基づき、計画的に修繕、改修及び管理運営をおこなっています。

### 課 題

- ・生涯学習への市民の関心や意欲は高いものの、参加者の固定化という偏りがみられるため、地域の身近なコミュニティセンター等を活用した幅広い年齢層に向けた出前講座や家庭教育講座など各種講座の周知方法を工夫し、学びの機会を提供する必要があります。
- ・複合施設ここらす内の中央図書館など生涯学習の拠点機能を活かし、読書活動の推進や学びの機会を提供する必要があります。
- ・地域と学校が連携・協働して人材の発掘により子どもたちの学習支援及び地域行事、郷土芸能などを伝承する機会をつくる必要があります。
- ・社会教育施設の統廃合、用途廃止等も検討していく必要があります。

### 施策計画

#### 1. 生涯学習の機会の提供及び環境づくりの推進

- ・知りたい、学びたいなど市民の学習意欲を引き出し、関心の高い講座などニーズに対応した市民が学習に参加しやすい環境づくりに努めます。
- ・幼稚園、保育所等、小・中学校等を通じて、青少年の健全育成に関する情報提供及び家庭教育支援のための講座等を開催し、意識啓発に努めます。
- ・複合施設ここらす内の中央図書館など生涯学習の拠点機能を活かし、読書活動の推進や学びの機会を提供します。
- ・地域と学校が連携・協働して、地域全体で子どもたちの学びや成長を支え、地域の未来を担う子どもたちを育成します。
- ・社会教育施設については、計画的に修繕、改修を行うことで、長寿命化を図るとともに、複合化や用途廃止等についても検討します。

### 分野別計画

天草市教育振興基本計画

## 関連する SDGs ゴールマーク



### この政策が関連する『ありたい姿』

1. 地域の個性や特色を生かした地域づくり活動や課題解決に向けた市民活動が活発に行われている
10. 安心して子どもを産み育てる環境ができている
14. 脱炭素社会への取り組みが浸透し、人と自然が共生し活発な環境保全活動が行われている

理念：ともに学びともに育つまち

4. 歴史と文化を認め合い、天草に誇りを持ち継承されている

政策 9. 芸術文化の振興と歴史文化の保存・継承

政策 10. 世界遺産とキリシタン史の保存・活用

《関連する政策》

政策 1. 市民一人ひとりが役割を持って活躍する地域づくりの  
推進

政策 25. 良好なまちなみの形成



## ありたい姿 4. 歴史と文化を認め合い、天草に誇りを持ち継承されている

### 政策9. 芸術文化の振興と歴史文化の保存・継承

#### 現 状

- ・芸術文化活動を行う団体の減少や地域によって活動に差異があり、舞台発表の機会もコロナ禍で減少しています。
- ・資料館や市民センター等の文化施設の老朽化が進んでいます。
- ・天草市の国・県・市指定の文化財は206件ありますが、経年劣化等により修復をすべき箇所は増大しています。
- ・天草島内のそれぞれの地域で歴史や文化財の調査研究を行っています。

#### 課 題

- ・市民が本物の文化芸術にふれる機会を設け、芸術文化活動への関心を高める必要があります。
- ・地域固有の祭りや伝統芸能等の魅力を伝承するための後継者育成が必要です。
- ・文化施設の老朽化が進んでいることで、来館者の利便性の低下や、資料の適切な保存に支障を来す可能性があります。
- ・保存・修復が必要な文化財の把握と、補助等の充実により所有者負担の軽減を図る必要があります。
- ・各地に点在している多数の文化財の更なる調査研究が必要ですが、文化財専門職員が不足しています。
- ・大学や他自治体と連携した広域な文化財等の調査研究体制の充実や、友好交流都市等との文化的交流を行うことで、市民が天草の文化的価値を再認識する必要があります。

#### 施策計画

##### 1. 芸術文化活動の推進

- ・児童生徒を対象とした芸術体験教室やふれあい出前コンサート等の推進と併せて、市民シアター事業や全国で公開されている多様で豊かな芸術文化事業に、多くの市民が参加し触れる機会を増やします。
- ・自主的な文化活動を行う団体や市民芸術文化祭、伝統芸能の活動団体に対する支援を行います。
- ・天草の歴史と文化を伝える資料館や市民センター等の文化施設の計画的な整備更新を進めることで、施設の魅力を高めるとともに長寿命化を図ります。

##### 2. 歴史文化の保存・継承

- ・地域固有の祭りや伝統芸能等の記録保存と継承活動を支援するとともに、市民が国・県・市指定文化財に関心を寄せるよう市民講座等の充実と、メディアやSNS等を活用した情報発信による啓発を図ります。

- ・ 指定文化財の維持保全に係る支援を充実することにより、文化財保護に対する市民の意識向上を図ります。
- ・ 史跡棚底城跡や天草に点在する文化財の更なる調査研究と、大学や他自治体との連携等による調査研究体制を確立して、文化財の保存と活用を推進すると共に、天草の歴史や文化を後世に継承する取り組みを推進します。

### 分野別計画

教育振興基本計画

### 関連する SDGs ゴールマーク



### この政策が関連する『ありたい姿』

8. 多様な地域資源を生かし、魅力ある観光のまちがつくられている
16. 豊かな自然と向き合い、保全・活用する仕組みができています

## 政策10. 世界遺産とキリシタン史の保存・活用

### 現 状

- ・「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界遺産に登録され3年が経過しましたが、コロナ禍の影響も加わり、崎津集落やキリシタン資料館（天草キリシタン館・天草コレジヨ館・天草ロザリオ館・崎津資料館みなと屋）の来訪者が減少しています。
- ・世界遺産の登録条件は、国の法律で確実に保護されていることとされており、崎津・今富集落は文化財保護法での重要文化的景観に選定されていますが、その特徴的な漁村・農村景観などの保全が、人口減少や廃業により厳しくなっています。

### 課 題

- ・世界遺産としての価値を持続していくため、「崎津・今富の重要文化的景観」の維持・活性化に対する支援を強化する必要があります。
- ・空き家や家屋の解体が増え、崎津集落のまち並みやその特徴的な「トウヤ」、「カケ」等の保存が難しくなっています。
- ・崎津集落のみでなく、今富集落にも焦点を当てた活動の推進とともに、キリスト教の伝来・禁教・潜伏・復活のストーリーをわかりやすく解説する体制や、文化財・信心具などの調査研究により、資産の価値をさらに高めていくことが重要です。
- ・長崎県の他の構成資産との広域連携により周遊性を高める必要があります。

### 施策計画

#### 1. 世界遺産の保存・活用

- ・世界遺産を将来にわたって保護・継承していくため、世界遺産の統一メッセージである「住む人に誇りを、訪れる人に感動を」を基本理念に、市民と行政が一体となって構成資産の保存・活用や環境整備などを行い、美しく誇れる景観の保全を図ります。
- ・学生ボランティアガイドの育成支援により、地域の誇りと郷土愛を次世代に繋げていきます。
- ・「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」を構成する長崎県の自治体とも連携し、効果的な情報発信や、市民・児童生徒の交流機会を増やすことなどにより、周遊性の向上や交流人口の拡大を目指します。

#### 2. キリシタン史の調査研究・情報発信

- ・キリシタン史に関する歴史資料や信心具などの収集・調査研究により、歴史的資産の価値をさらに高め、後世へ継承します。
- ・キリシタン資料館の収蔵資料の保存・活用や、ストーリー性と特色ある展示内容の充実により、天草の歴史文化に対する市民意識を高めるとともに、その魅力を市内外に広く発信します。

## 分野別計画

崎津・今富の文化的景観整備活用計画、天草市景観計画、天草市教育振興計画

## 関連する SDGs ゴールマーク



### この政策が関連する『ありたい姿』

- 8. 多様な地域資源を生かし、魅力ある観光のまちがつけられている
- 9. 市民が地域で生き生きと暮らしている
- 16. 豊かな自然と向き合い、保全・活用する仕組みができている

**理念：つながり稼げるまち**

5. 良質な農林水産物が生産され、産地力（生産者数×量）が維持・向上されている

政策 11. 活力ある持続可能な地域農業の振興

政策 12. 林業の活性化による健全な森林整備

政策 13. 資源を生かした持続的な水産業の振興

《関連する政策》

政策 3. 男女共同参画社会の推進

政策 15. 地産地消・地産他消の推進

政策 33. 移住・定住の推進

**ありたい姿** 5. 良質な農林水産物が生産され、産地力（生産者数×量）が維持・向上されている

## 政策 1 1. 活力ある持続可能な地域農業の振興

### 現 状

- ・令和2年度農業就業者数（農業センサス）は、2,512人で平成27年度の68.1%と減少に歯止めが掛かっていません。また、65歳以上の高齢者の割合が72%を占め、高齢化が進んでいます。
- ・新たな担い手としての集落営農法人設立、日本型直接支払制度の活用による農地維持活動の支援と耕作放棄地の拡大防止に取り組んでいます。
- ・中山間地域内にある農地を将来に渡って適切に維持管理できるよう、地域の担い手を明確にするため人・農地プランを推進しています。
- ・天草産農畜産物のブランド化を推進しています。
- ・生産量維持・営農意欲の継続、産地維持のため国県事業はもとより市単独事業の積極的な施策展開が図られています。
- ・本市農業農村整備事業管理計画を推進（合意形成）し、国庫補助事業（新規及び継続事業）の事業着手から完了を目指しています。

### 課 題

- ・農家数・農業就業者数が減少していることを踏まえ、新たな農業担い手（新規就農者・集落法人等）確保に努める必要があります。
- ・中山間地域における農地維持活動の継続と耕作放棄地の拡大防止のため、日本型直接支払制度を活用した取り組みを推進していく必要があります。
- ・生産量・営農意欲の維持を図りながら、天草産農畜産物のさらなるブランド化を推進し、農業者の所得向上を目指す必要があります。
- ・農業生産基盤の整備を推進し、農業経営の安定と優良農地の保全を図る必要があります。
- ・有害鳥獣対策を推進し、農作物への被害の軽減を図る必要があります。
- ・国が示す「みどりの食料システム戦略」に取り組み、持続可能な食料システムの構築、調達から生産、流通、消費までの各段階の取り組みとイノベーション（技術革新）を本市においても推進していく必要があります。

### 施策計画

#### 1. 持続可能な地域農業の推進

- ・農地と担い手の将来像である人・農地プランを引き続き推進し、多様な担い手への農地集積を進め、農業経営の効率化・安定化を図ります。
- ・新規就農者の確保を強力に進め、自立・定着までのきめ細やかなサポート体制を維持するとともに、集落営農法人の設立、経営安定化を支援し持続可能となる地域農業を推進します。

- ・国が示すみどりの食料システム戦略に基づき、有機農業など持続可能な食料システムの構築を推進します。

## 2. 農地基盤整備率の向上

- ・中山間地域の基盤整備事業を加速させるとともに、農業公社による農地バンク制度との一体的な取り組みにより、農地耕作条件を改善し、水田の畑地化、汎用化等を促進させ、担い手農家や新規農業参入企業等への優良農地供給を図ります。

## 3. 農業施設の長寿命化

- ・排水機場の全体更新を見据えながら、機能診断結果に基づく整備計画書により計画的な工事を実施し長寿命化を図ります。

## 4. 手取り収入を増やす稼げる農畜産物づくり

- ・生産性の向上や品質向上を図るため、現場の実態に応じた天草型のスマート農業の積極的な推進に取り組みます。
- ・施設の強靱化を進めるとともに園地の集積・基盤整備を支援し、作物の安定生産や品質向上につなげます。
- ・特色ある地域資源を活用した天草産農畜産物のブランド化を関係機関と連携して行い所得向上につなげます。

## 5. 農村環境の保全・活用と集落機能の維持

- ・小規模農業やそれを支える家族、地域の人々が、営農を継続できるよう日本型直接支払制度を活用して、各集落協定への加入促進、集落協定が行う農地や農道、用排水路等の維持管理のための共同の取り組みを支援します。
- ・復旧可能な耕作放棄地については、基盤整備事業と合わせた解消活動など、地域全体の取り組みを支援します。

## 6. 有害鳥獣対策の推進

- ・農業被害軽減として、地域全体で勉強会を開催、防護柵等への設置補助を行い、守れる集落・守れる田畑を推進します。
- ・狩猟免許取得やわな購入に補助を行い、捕獲による被害軽減を図ります。
- ・イノシシ対策として、捕獲者の負担軽減として有害鳥獣処理施設の利用促進を図り、併せて農業法人へ捕獲許可を行い、積極的な捕獲活動を推進し被害軽減を図ります。

### 分野別計画

天草市農業振興地域整備計画、農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想、天草市肉用牛生産近代化計画、天草市有害鳥獣防止計画

関連する SDGs ゴールマーク



この政策が関連する『ありたい姿』

3. 多様な地域資源を生かし、魅力ある観光のまちがつくられている
6. ひとつづくり・ものづくりで郷土にやりがいを感じ、働ける場所がある
7. 魅力ある天草産品がつくり続けられ、域内経済が好循環となり、域外へ新たな販路が広がっている
8. 多様な地域資源を生かし、魅力ある観光のまちがつくられている
14. 脱炭素社会への取り組みが浸透し、人と自然が共生し活発な環境保全活動が行われている
15. 資源の循環が図られ、快適なまちづくりが行われている



## 政策 1 2. 林業の活性化による健全な森林整備

### 現 状

- ・天草市の森林は 46,277ha と全体面積の約 67% を占めており、そのうち人工林の割合が 43% を占めています。
- ・現在、林業労働力の不足や林業経営費等の上昇に起因して林業生産活動が低迷していますが、ウッドショック以降、近年低迷していた木材価格等が上昇傾向にあるなど、林業を取り巻く環境に変化が生まれてきています。
- ・台風や濁水等の自然災害が激甚化していることで、森林所有者の林業経営意欲を減退させ、保育や間伐の遅れた森林が増加しています。
- ・森林経営管理法が平成 31 年 4 月に施行され、新たな森林経営管理制度が開始されました。このことにより、適切な経営管理が行われていない森林の経営管理を本市が担っています。
- ・令和 2 年度林業就業者数（国勢調査）は 127 人と平成 27 年度から 47 人減少し、歯止めがかかっていません。また、令和元年度における林業経営体数（農林業センサス）は 55 経営体で、そのうち、個人経営体が全体の 78.2% を占めています。

### 課 題

- ・今後、人工林を保育・間伐により生産性のある森林として整備する必要があります。
- ・伐期に達した人工林の積極的な主伐による林齢構成の平準化及び伐採跡地への植栽等による的確な更新を行い、森林の有する多面的機能を高度に発揮していくことが重要な課題となっています。
- ・森林所有者及び林業従事者の所得向上につながる支援を図るとともに、林業を活性化させる体制づくりを促進していく必要があります。
- ・林業従事者不足が深刻な状況にあり、新規林業就業者、林業担い手を支援する事業を推進し、人材確保に努める必要があります。
- ・令和元年度から始まった森林環境譲与税を活用した森林整備、人材育成・担い手確保、木材利用促進等の取り組みを進める必要があります。
- ・森林は、二酸化炭素を吸収・固定し、地球温暖化防止に貢献しており、森林吸収源対策として間伐等の適切な森林整備を進める必要があります。

### 施策計画

#### 1. 適正な森林整備を推進し緑豊かで元気な森林を維持

- ・国県補助の森林整備事業と森林GISデータ（地理情報システム）を活用し、適切な森林経営計画を策定することにより、良質な木材・森林をつくるために欠かせない間伐や枝打ちなどの作業が計画的に行われ、優良な天草産材の育成と緑豊かで元気な森林の維持を図ります。
- ・新規林業就業者及び林業担い手を支援する事業により、担い手の確保、定着のための経営安定化を支援し地域林業を推進します。

- ・個人経営の割合が高い本市林業経営体間の連携強化により、経営の安定化・効率化を図ります。

## 2. 間伐等を促進し林業資源の利活用と公益的機能の発揮を推進

- ・天草地域森林組合等関連団体と連携し、スギやヒノキ等の間伐を計画的に推進していくために、国県補助や森林環境譲与税を活用した森林整備事業を推進し、間伐材の安定供給並びに公益的機能の発揮を図ります。

## 3. 広葉樹等保全活動と資源利活用の推進

- ・地域住民が中心となった組織（活動組織）が実施する荒廃した里山林の森林整備事業を推進し、地域の森林の保全管理等や広葉樹・雑木を含めた森林資源の利活用、山村地域の活性化を図ります。

### 分野別計画

#### 天草市森林整備計画

### 関連する SDGs ゴールマーク



### この政策が関連する『ありたい姿』

3. 多様な地域資源を生かし、魅力ある観光のまちがつくられている
6. ひとづくり・ものづくりで郷土にやりがいを感じ、働ける場所がある
7. 魅力ある天草産品がつくり続けられ、域内経済が好循環となり、域外へ新たな販路が広がっている
8. 多様な地域資源を生かし、魅力ある観光のまちがつくられている
14. 脱炭素社会への取り組みが浸透し、人と自然が共生し活発な環境保全活動が行われている
15. 資源の循環が図られ、快適なまちづくりが行われている

## 政策 1 3. 資源を生かした持続的な水産業の振興

### 現 状

- ・本市の海面漁業の漁獲量は平成 9 年度を境に 2 万トンを下回り、近年は 1 万 2 千トン前後で推移しています。
- ・本市の魚類養殖業は県下の 7 割以上を占め、全国でも有数の産地となっています。
- ・海水温の上昇など自然環境の変化により漁獲量が低下していることから、藻場の保全や種苗放流等による資源回復に取り組んでいます。
- ・漁場環境の悪化等により魚病や赤潮が頻発し、漁家経営を圧迫しています。
- ・市場の集荷能力や価格形成力が低下しています。
- ・平成 30 年度漁業就業者数（漁業センサス）は 2,036 人で平成 25 年度の 86.4%と減少に歯止めが掛かっていません。また、65 歳以上の高齢者の割合が 42%を占め、高齢化が進んでいます。
- ・漁港・海岸施設の老朽化が進んでいます。

### 課 題

- ・稚仔魚の育成や産卵の場としての藻場や干潟を保全・回復させるための効率的な対策が必要です。
- ・温室効果ガス増加の緩和等の役割を担うアマモ場を中心としたブルーカーボン生態系の保全および拡大が望まれています。
- ・環境変化に対応した科学的な根拠に基づいた資源管理を強化する必要があります。
- ・漁船漁業の経営安定を図るため事業の多角化等を推進する必要があります。
- ・生産性向上のための赤潮や魚病対策が必要です。
- ・産地での一次加工等による高付加価値化等の対策が必要です。
- ・漁業後継者確保のための人材育成、次世代の後継者確保の取り組みの強化が必要です。
- ・漁港や海岸保全施設の老朽化が進んでおり、計画的に対策を講じる必要があります。
- ・漁業従事者の高齢化や漁船数の減少による漁協施設の在り方の検討を含めた対策を講じる必要があります。

### 施策計画

#### 1. 豊かな里海の再生

- ・漁業者団体等が行う藻場の保全・再生活動に対し積極的に支援します。
- ・漁協等が行う種苗放流に対して積極的に支援します。

#### 2. 漁業生産・経営基盤の強化

- ・漁獲量の向上や赤潮、魚病対策のため、大学等の関係機関と連携し、調査研究に取り組むとともに、ITを活用した海況や赤潮等の情報収集・提供などスマート漁業を推進します。

- ・意欲ある漁業者の経営安定対策の強化に取り組みます。
- ・漁業者の利便性や安全性、生産力向上に必要な施設整備等を支援します。
- ・漁業後継者の確保のため、担い手の受入先や漁船情報のデータベース化に取り組むとともに、漁業技術の習得、設備投資の経費について国や県と協力して支援を行います。
- ・漁港機能保全計画、海岸保全施設長寿命化計画に基づき、計画的な維持補修に取り組めます。
- ・国や県の動向を注視し、天草市漁港統合計画の作成に向けた準備を進めます。

### 3. 天草の魚の魅力発信と漁村の活性化

- ・漁業者等が行う未利用資源の商品化に対する取り組みを支援します。
- ・地域水産物の販売力強化に向けて、漁業者や漁協が行う販路開拓や直販、水産物の認知度向上に繋げる取り組みを支援します。
- ・お魚給食の日の食材配布、市内小中学生向けの魚食普及講座や体験学習など学校教育と連携した取り組みに加え、天草の多種多様な水産物を活かしたご当地メニューや商品の開発等の天草の水産物の魅力発信に関する取り組みを支援します。

#### 関連する SDGs ゴールマーク



#### この政策が関連する『ありたい姿』

3. 多様な地域資源を生かし、魅力ある観光のまちがつくられている
6. ひとつづくり・ものづくりで郷土にやりがいを感じ、働ける場所がある
7. 魅力ある天草産品がつくり続けられ、域内経済が好循環となり、域外へ新たな販路が広がっている
8. 多様な地域資源を生かし、魅力ある観光のまちがつくられている
14. 脱炭素社会への取り組みが浸透し、人と自然が共生し活発な環境保全活動が行われている
15. 資源の循環が図られ、快適なまちづくりが行われている

理念：つながり稼げるまち

6. ひとづくり・ものづくりで郷土にやりがいを感じ、働ける場所がある

政策 14. 商工業の振興と多様な働く場の創造

《関連する政策》

政策 3. 男女共同参画社会の推進

政策 11. 活力ある持続可能な地域農業の振興

政策 12. 林業の活性化による健全な森林整備

政策 13. 資源を生かした持続的な水産業の振興

政策 15. 地産地消・地産他消の推進

政策 33. 移住・定住の推進

**ありたい姿** 6. ひとつづくり・ものづくりで郷土にやりがいを感じ、働ける場所がある

## 政策 1 4. 商工業の振興と多様な働く場の創造

### 現 状

- ・市内の事業者数は、平成 18 年に 5,592 事業所あったが、平成 28 年には 4,831 事業所となり、10 年間で 761 事業所が減少しています。
- ・令和元年には 4,807 事業所となっており、平成 28 年と比べると 24 事業所が減少しています。
- ・商工会議所・商工会の会員数は、平成 26 年までは平均して年間 60 社程度減少していましたが、平成 27 年以降は、年間 10 社未満の減少または、令和元年、3 年は増加に転じています。本渡商工会議所は、平成 29 年から 5 年連続増加に転じています。牛深商工会議所においては、令和 3 年に増加に転じています。
- ・求人倍率は、令和 2 年においては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、天草管内は 0.95 と減少しましたが、令和 3 年 1 月現在は、県下で一番低いものの 1.15 まで回復しています。
- ・令和元年 7 月に実施した事業所アンケートの「事業承継」において、「自分の代で事業の廃業を予定している」と回答した事業者が全体の 33.1% となっています。さらにそのうち、後継者がいないと回答した事業者が 41.1% となっており、事業承継支援が必要となっています。

### 課 題

- ・高校卒業後 8 割以上の若者が市外へ流出しており、Uターンも厳しい状況です。
- ・若者が地元に残りたい、戻ってきたいと思える働く場が少ない状況です。
- ・有効求人倍率は 1.0 を超えており、中でも、製造業・建設業などにおいては、求人する人が集まらない状況です。
- ・高校新卒者で就職希望者の内、地元就職率は、24.4% と低迷しており、地域経済を支える生産年齢人口が減少しています。
- ・若者が魅力とを感じる職種の企業を誘致していく必要があります。

### 施策計画

#### 1. 地場企業の新しい取り組みを応援

- ・商工団体をはじめ、商工事業者支援団体や地元金融機関との連携強化による起業創業や地場企業が行う生産性向上、販路開拓、新商品開発、事業転換、雇用環境など経営改善の支援を行います。
- ・熊本県事業承継・引継ぎ支援センター及びあまくさ事業承継サポート会議との連携による円滑な事業承継の支援を行います。
- ・早めの事業承継による安定した経営を支援するため、次世代を担う経営者（リーダー）として若手後継者や移住者などの育成を行います。

- ・天草の商品や企業の競争力の向上を目的に、稼げる事業者及びデザインプロデューサーの育成を行います。
- ・市内の商工団体等が電子商品券アプリ天草のさりーを活用し、市内消費喚起による地場企業の活性化を図ります。
- ・県内及び市内で合同企業説明会等を開催し、多様な人材による市内企業の雇用の維持及び拡大を図ります。

## 2. 企業誘致等により若者の働く場を創出

- ・プログラミングなどのITのスキルアップできる環境を整備し、起業創業に繋がる人材、誘致した企業や地元企業への地元雇用の拡大を図ります。
- ・就職情報の発信、地元新卒者・若者のUターン就職を支援します。
- ・若者の就職に人気の、ゲーム・アニメ・映像等のCG製作会社の誘致または設立を行います。
- ・企業誘致に併せて、地元の高校で即戦力となるCGデザイナーの育成を行うため、CGコースの新設に取り組みます。

### 関連するSDGs ゴールマーク



### この政策が関連する『ありたい姿』

10. 安心して子どもを産み育てる環境ができている
13. 天草での暮らしが共感され、多くの人に移住・定住している

理念：つながり稼げるまち

7. 魅力ある天草産品がつくり続けられ、域内経済が好循環となり、域外へ新たな販路が広がっている

政策 15. 地産地消・地産他消の推進

《関連する政策》

政策 11. 活力ある持続可能な地域農業の振興

政策 12. 林業の活性化による健全な森林整備

政策 13. 資源を生かした持続的な水産業の振興



**ありたい姿** 7. 魅力ある天草産品がつくり続けられ、域内経済が好循環となり、域外へ新たな販路が広がっている

## 政策 15. 地産地消・地産他消の推進

### 現 状

- ・市内の事業者が天草の地域資源を活用した新たな加工・流通・販売等に取り組む場合に必要な機械・設備等の導入及び新商品開発、販路開拓などに6次産業化推進事業として支援を行っています。
- ・国の伝統的工芸品指定を受けた天草陶磁器の知名度は、天草大陶磁器展等の開催により年々増加し、島内外からの誘客による経済効果につながっています。
- ・市内の生産情報を把握する天草宝島物産公社等が都市部等の企業と市内の生産者や事業者との取引仲介をすることで、小規模生産者が多い天草産品でも必要量を確保することができ、一次・二次産品の取引につながり、市内の生産者や事業者の所得向上につながっています。
- ・天草産品等に関心が高く、取引が期待できる事業者やバイヤーを招致し、マーケットインの考え方を学び、生かすことで売れる商品づくり、販路拡大の支援を行っています。
- ・令和3年度の市民アンケートによる「意識して天草産の品物を購入（使用）していますか」の回答では、「している」「どちらかといえばしている」と回答された方が79.3%となっています。
- ・コロナ禍で天草産品の販路開拓の営業や天草陶磁器関連のイベント等の開催ができず、市内生産者や事業者は経営が厳しい状況にあります。

### 課 題

- ・市内産の農林水産物について、加工等により高付加価値のある商品開発が必要です。
- ・天草産品の魅力を訴求するプロモーションが必要です。
- ・県内他市に比べて地元での購買率は高いものの、若い世代になるほど地元産の購入にこだわらない傾向にあります。
- ・商店街や身近な店舗の閉店などにより、日用品の買い物に不便を感じている買い物弱者が増えていることから、既存店舗を閉めないための支援も検討する必要があります。

### 施策計画

#### 1. 市場のニーズを捉えた天草産品の付加価値向上ともうかる“なりわい”の創出

- ・天草産品を活用した新商品の開発及び販路拡大による地産地消・地産他消に取り組む活動を支援し、雇用拡大につなげます。
- ・商品開発で農林水産物の付加価値を高めるとともに、安価で取引されている規格外品等の価値も高め、市内生産者や事業者の所得の向上につながる支援に取り組みます。

- ・天草製品の生產品目や生産量の把握を行い、首都圏の副業人材による営業活動にも取り組みます。
- ・天草という高い知名度を活かし、市内の経済団体や生産者組合等と連携して本市を代表する製品の情報発信を積極的に行い、都市圏のバイヤー等と市内の生産者や事業者との商談の機会をつくるなど販路拡大に取り組みます。

## 2. やきものの産地化を推進

- ・国の伝統的工芸品の指定を受けた天草陶磁器を活用し、天草を陶磁器の島としてさらに発展させていくため、天草陶磁器の島づくり協議会が行う陶磁器の産地化、島外への出展、技術継承及び後継者育成への取り組みを支援します。

## 3. 市内での消費循環を拡大

- ・経済団体等と連携し、市内で生産される農林水産物や加工品、陶磁器、サービス等の域内消費を増やすための取り組みを支援します。
- ・商品券発行による電子商品券アプリ天草のさりの普及を図り、市民や観光客等による市内消費喚起につながる取組みを支援します。

## 4. 元気な商店街づくり

- ・民間事業者が実施するイベント等への取り組みを支援するとともに、個店の顧客増加に向けた取り組みを進めます。
- ・本渡地区においては、本渡港周辺環境整備推進事業と、また牛深地区においては、牛深港周辺整備基本構想と連携した商店街の活性化を進めます。

### 関連する SDGs ゴールマーク



### この政策が関連する『ありたい姿』

5. 良質な農林水産物が生産され、産地力（生産者数×量）が維持・向上されている
6. ひとづくり・ものづくりで郷土にやりがいを感じ、働ける場所がある

理念：つながり稼げるまち

8. 多様な地域資源を生かし、魅力ある観光のまちがつくられている

政策 16. 魅力ある観光の創造

《関連する政策》

- 政策 1. 市民一人ひとりが役割を持って活躍する地域づくりの推進
- 政策 6. 次世代の担い手の育成
- 政策 9. 芸術文化の振興と歴史文化の保存・継承
- 政策 10. 世界遺産とキリシタン史の保存・活用
- 政策 11. 活力ある持続可能な地域農業の振興
- 政策 12. 林業の活性化による健全な森林整備
- 政策 13. 資源を生かした持続的な水産業の振興
- 政策 22. スポーツ・運動の推進
- 政策 34. 脱炭素社会の実現と自然環境の保全・共生
- 政策 36. 自然資源を活用した地域の魅力向上

## ありたい姿 8. 多様な地域資源を生かし、魅力ある観光のまちがつくられている

### 政策16. 魅力ある観光の創造

#### 現 状

- ・本市は、雲仙天草国立公園にも指定されている自然景観をはじめ、イルカウォッチングや化石採集等の体験、キリシタン文化や豊富な農林水産物など、多彩な地域資源に恵まれています。
- ・近年は自然災害や感染症等の影響により観光需要が減退し、さらに、旅行形態の変化やニーズの多様化に加え、地域間競争が激しさを増しており、令和2年の宿泊者数は約20万人と大きく減少しています。
- ・天草ならではの価値ある資源、「本物」の資源を市民に再認識いただき、データ分析に基づいて効果的に観光情報を発信することで誘客につながるよう取り組んでいます。

#### 課 題

- ・観光地経営の視点に立ち、多様な関係者の合意形成、体系的なデータ収集・分析に基づいた実効性の高い戦略を策定し、実行体制の強化により、観光振興を図る必要性が高まっています。
- ・近年は混雑を避けたマイクロツーリズム（近場の旅行）化が進み、日帰り旅行の増加や滞在時間が短縮する傾向にあるため、観光拠点の魅力向上と併せて、拠点における発信力の強化により周遊へとつなげ、観光消費の拡大を図る必要があります。
- ・継続性の高い観光振興を図るためには、観光によるまちづくりに対する市民の理解を深め、共に創造することが重要です。そのために、観光事業者のリーダー育成をはじめ、市民の地域に対する愛着や誇りを醸成し、併せて、幅広い観光に関連する産業と連携しながら、継続性の高い稼げる観光によるまちづくりを推進する必要があります。

#### 施策計画

##### 1. 地域資源を活かし周遊・滞在・交流につなげる「魅力づくり」

- ・自然や歴史・文化など、市内各地に点在する多様な地域資源を掘り起こし、事業者、市民、観光協会を中心とする関連団体、行政が主体的かつ継続的に磨き上げを行うことで魅力の向上を図ります。
- ・周辺自治体や連携自治体、関連団体等と連携した広域周遊ルート、市内周遊ルートの提案や、教育旅行、インバウンド（外国人観光客）誘客への対応を図るとともに、「本物」の資源をさらに磨き上げることで選ばれる観光地、稼げる観光地を目指します。

##### 2. 周遊と滞在を促進する「観光インフラ」の充実

- ・道の駅などの観光拠点施設における情報発信機能の充実を図るとともに、老朽化施設の統廃合を進め、効率的な施設運営を行います。

- ・ 関連部署や団体等と連携して、地域資源である景観の維持や、宿泊・飲食・物産・体験施設等と連動することで観光客の受け皿の充実を図ります。
- ・ 陸海空の交通事業者、旅行事業者等と連携し、観光客の利便性の維持・向上を図ります。

### 3. ニーズを把握し、誘客へつなげる「観光プロモーション」

- ・ 多彩で魅力的な観光情報を伝え来訪につなげるために、SNSやビッグデータを活用するとともに、観光動向調査や車両ナンバー解析システム等で得られたデータに基づいた戦略的な手法・手段（マーケティング）を用いて、より効果的な情報発信（広告宣伝活動・観光プロモーション）を行います。
- ・ インナープロモーション（市民向けの観光情報発信）により、観光産業がもたらす地域経済への効果や、歴史・文化などの地域資源への認識を促進し、誇りや郷土愛を醸成することで、市民が自ら、観光客へのおもてなしや観光情報を発信する力の強化に努めます。

#### 分野別計画

天草市観光振興アクションプラン

#### 関連する SDGs ゴールマーク



#### この政策が関連する『ありたい姿』

16. 豊かな自然と向き合い、保全・活用する仕組みができている

理念：やさしさと安心のまち

## 9. 市民が地域で生き生きと暮らしている

政策 17. 健康寿命の延伸

政策 18. 安心して医療、介護が受けられる体制の強化

政策 19. 地域福祉の充実、支援

政策 20. 高齢者の生きがいづくりの推進

政策 21. 障がい者（児）の自立と社会参画をめざした地域づくりの推進

政策 22. スポーツ・運動の推進

### 《関連する政策》

政策 1. 市民一人ひとりが役割を持って活躍する地域づくりの推進

政策 2. 様々な分野における市民活動の推進

政策 3. 男女共同参画社会の推進

政策 9. 芸術文化の振興と歴史文化の保存・継承

## ありたい姿 9. 市民が地域で生き生きと暮らしている

### 政策 17. 健康寿命の延伸

#### 現 状

- ・新型コロナウイルス感染症のまん延により、市民の健康づくり活動及び経済活動が低下しています。
- ・加齢とともに、高血圧症、糖尿病及び脂質異常症など生活習慣病を有する人の割合が高くなる傾向にあります。
- ・「悪性新生物（がん）」「心疾患」「脳血管疾患」の生活習慣病が、死因の約 50%を占めています。
- ・後期高齢者医療制度における一人当り医療費は、制度発足時の平成 20 年度は約 90 万円だったが、令和 2 年度は約 107 万円で、12 年間で 17 万円伸びています。

#### 課 題

- ・市民の一人ひとりが「自分の健康は自分で守る」という認識のもと、子どもから高齢者まで、健康的な生活習慣づくりと心身機能の維持、向上に取り組むことが必要です。
- ・各種健（検）診の受診率が低く、自らの健康意識の向上につながる取り組みが必要です。
- ・医療、健診、介護の情報等を共有し、高齢者等の保健事業の接続、フレイル予防及び介護予防の取り組みが必要です。

#### 施策計画

##### 1. 健康づくりの推進

- ・市民の健康に対する意識が、地域全体の意識として高まり、健康に心がける人が増える地域づくりを目指します。
- ・企業、地域及びボランティア等と連携し、市民の健康づくりを応援する環境づくりを推進します。

##### 2. 生活習慣改善の推進

- ・適正な栄養や食生活、身体活動、運動、休養、こころの健康、禁煙、適正飲酒、歯や口腔の健康等、市民がより良い生活習慣を身につけ、生涯を通じた健康づくりを推進します。
- ・がん検診などの各種健（検）診の受診環境を整備するとともに受診率の向上に取り組むことで、疾病の早期発見、早期治療、発症予防、重症化予防を推進します。
- ・感染症に関する正しい知識の普及啓発を図るとともに、予防接種等の実施により、感染症の発生とまん延防止に努めます。

### 3. 保健事業と介護予防等の一体的な取り組みの推進

- ・国民健康保険では、特定健康診査及び特定保健指導の受診率向上を図り、生活習慣病を起因とする疾病の予防、疾病の早期発見、早期治療につなげることで、医療費の適正化に努めます。
- ・後期高齢者医療保険では、保健事業、地域支援事業、健康づくり事業を共有し、国保データベースの活用によりデータ分析を行うとともに、通いの場等への積極的な関与により、健診受診率向上、生活習慣病の予防、重症化予防及びフレイル予防の充実に取り組みます。

#### 分野別計画

天草市地域福祉計画・地域福祉活動計画、健やか生きいきプラン、  
天草市健康増進計画

#### 関連する SDGs ゴールマーク





## 政策 18. 安心して医療、介護が受けられる体制の強化

### 現 状

- ・市立病院をはじめ市内の医療機関で医師及び看護師が不足しています。
- ・市立病院は救急医療や不採算医療を提供しているが、人口減少等の影響で患者数が減少していることに伴い、経営が厳しい状況です。
- ・少子化により高校卒業者が著しく減少し、また、進学や就職のため卒業後は市外へ転出する生徒が多い状況です。
- ・看護職希望者の中にも、市外の看護系大学や看護専門学校等への進学希望者が多い状況です。
- ・市内の地域によっては医療機関がなくなるなど、地域間格差が生じています。
- ・国民健康保険及び後期高齢者医療制度は、高齢者や低所得者の加入割合が高く、医療費水準も高いことから財政運営が厳しい状況です。
- ・高齢者人口はほぼ横ばいとなっているが、高齢化率は年々上昇を続けています。

### 課 題

- ・市立病院は持続可能な医療提供体制を確保する必要があります。
- ・看護職へ意欲のある学生の確保を図るとともに、本渡看護専門学校の定員確保に努める必要があります。
- ・市内医療機関への就職率の向上の取り組みをさらに強化する必要があります。
- ・専門医（産婦人科、小児科等）及び看護師を継続的に確保する必要があります。
- ・医療機関の地域間格差の是正に取り組む必要があります。
- ・国民健康保険及び後期高齢者医療制度における一人あたり医療費の伸びの抑制が必要です。
- ・高齢化が進行する中、将来にわたり介護保険制度が安定的に運営できる体制の構築が必要です。

### 施策計画

#### 1. 市立病院の効率的な活用

- ・熊本県や関係部署と連携し医師をはじめとした医療従事者の確保に取り組みます。
- ・各市立病院が機能連携を行いながら地域に必要な医療を提供することで、持続可能な医療提供体制を確保します。

#### 2. 地域に根差し変化する医療に柔軟に対応できる優秀な看護師の育成（天草市立本渡看護専門学校）

- ・地域の保健医療福祉を担う看護師を養成するため優秀な学生を確保し、国家試験の全員合格及び市内医療機関との連携による市内就職率の向上を更に図ります。
- ・社会構造の変化、医療技術の進歩、医療提供の場の多様化等により、変化してきている医療環境に柔軟に対応できる看護師の育成を進めます。
- ・学生が充実した学びができるよう、学校の施設及び設備の充実を図り、学校の価値と魅力度を高めます。

- ・市内医療機関との連携を密にし、効果的・実践的な臨地実習の実施を主とした教育の充実を進めます。

### 3. 安心できる地域医療体制の整備

- ・医師及び看護師等修学資金制度により継続的な医療人材の確保に取り組みます。
- ・専門医(産婦人科、小児科、麻酔科)確保のための支援を地域拠点病院等に行います。
- ・医療機関の地域間格差を可能な限り是正するため、天草郡市医師会等の関係機関と連携を強化します。

### 4. 国保・後期・介護保険制度の安定運営

- ・国保税等の適正賦課及び収納率の向上に取り組みます。
- ・医療費及び介護給付費の適正化に向けた取組みを推進します。
- ・国民健康保険、後期高齢者医療制度及び介護保険制度の安定運営に努め、安心して利用できるよう情報を提供します。

## 分野別計画

### 天草市立病院改革プラン

## 関連する SDGs ゴールマーク



## この政策が関連する『ありたい姿』

10. 安心して子どもを産み育てる環境ができている
11. 市民が安心して暮らせる環境ができている

## 政策 19. 地域福祉の充実、支援

### 現 状

- ・核家族化と単身世帯化が進み、高齢者のみの世帯が増加しています。
- ・少子高齢化や生活様式の多様化により、地域コミュニティが希薄化しています。
- ・社会的孤立の問題が深刻化しています。
- ・生活困窮者が抱える複合的な問題が多くなっています。

### 課 題

- ・安心して地域で暮らせる見守り体制の強化と地域住民との連携が必要です。
- ・高齢の親とひきこもりの中高年の子が同居し、収入や介護等に関する問題が発生する 8050 問題や子育てと親の介護が同時期に発生するダブルケアの問題など個人や世帯が抱える複雑化、複合化した生活課題に対する支援体制の強化が必要です。
- ・生活困窮者の抱える多岐にわたる課題への取り組みが必要です。

### 施策計画

#### 1. 安心して地域で暮らせる環境づくり

- ・日頃からの見守り、災害時の避難支援等の地域住民の共助による活動充実を図ります。
- ・中心的な役割を果たす行政区や民生委員・児童委員、団体等の活動を支援します。
- ・市民活動団体や社会福祉協議会等と連携して、地域住民が積極的にボランティア活動に参加する意識を醸成します。

#### 2. 地域生活課題への相談・支援体制の構築

- ・複雑化、複合化した各種制度の狭間にある課題に対応する支援体制を構築します。

#### 3. 生活に困窮している人への自立支援

- ・生活の安定と自立助長を促すための支援を行います。
- ・生活保護に至る前の自立支援策の強化に取り組みます。

### 分野別計画

天草市地域福祉計画・地域福祉活動計画

### 関連する SDGs ゴールマーク



### 関連するありたい姿

10. 安心して子どもを産み育てる環境ができている
12. 市民との協働による安心安全なまちづくりができている

## 政策 20. 高齢者の生きがいの推進

### 現 状

- ・総人口は年々減少してきており、65歳以上の高齢者を支える若い世代の急激な減少と高齢者人口の増加により、介護職等の支え手が少なくなり、必要なサービス量を確保することが難しくなっています。
- ・高齢者がいる世帯は、市内全世帯に対して約6割を占めている。また、高齢者のみの世帯も増加しています。
- ・平成27年度から介護予防の取組みを強化した結果、支援を必要とする虚弱高齢者等の人数は減少しており、ピーク時と比較すると約25%減の状況にあります。
- ・要介護認定者、要支援認定者を含む虚弱高齢者の人数は横ばいの状況にあります。
- ・要介護認定者の総数は抑えられているものの、75歳～84歳の高齢者人口の増加に伴い新規の要介護等認定者や介護度が重度化した高齢者が増えています。

### 課 題

- ・若い世代の人口減少は、高齢者を支える世代の減少であると同時に、支え手の主体である医療や介護に従事する専門職の減少につながっており、一方、団塊の世代の高年齢化に伴い、支援を必要とする人は増加すると予測されています。
- ・要介護等認定者に占める認知症高齢者の割合は高く、認知症が悪化することが介護度の重度化につながる一番の要因となっています。

### 施策計画

#### 1. 高齢者が生き生きと暮らせる仕組みづくり

- ・高齢者がいつまでも健康で生き生きと暮らせるため、介護予防活動及び認知症予防活動の取組みを推進します。
- ・高齢者が地域の担い手として地域活動や社会貢献できる仕組みづくりを推進します。

#### 2. どんな時も安心して生活ができる地域づくり

- ・認知症になっても安心して日常生活を過ごせるため、市民が認知症を正しく理解し早期発見、早期対応ができる地域づくりを推進します。

### 分野別計画

天草市地域福祉計画・地域福祉活動計画、健やか生きいきプラン

### 関連する SDGs ゴールマーク



## 政策 2 1. 障がい者（児）の自立と社会参画をめざした地域づくりの推進

### 現 状

- ・障がい者自らが生き方を選択し、必要な情報を得るための相談体制の充実が必要です。
- ・障がいに対する理解や差別解消に向けた合理的配慮が十分に浸透していない状況です。
- ・障がい者の雇用については、障害者雇用促進法で定める法定雇用率が天草圏域では、下回っています。
- ・障がい者の団体及び家族会等の会員の新規加入が少ない状況です。

### 課 題

- ・地域住民や事業者に対して、障がいの特性についての理解を深める必要があります。
- ・障がい福祉サービスなどの制度の利用を促進するため、情報を得やすくする必要があります。
- ・障がい者が、必要な時に必要な障がい福祉サービスを受けられる体制づくりが必要です。
- ・ハローワークや関係機関と共に、事業者に対して障がい者雇用を促進する必要があります。
- ・障がい者の団体及び家族会等の団体活動が停滞しています。

### 施策計画

#### 1. 障がい者（児）の自立と社会参画をめざした地域づくりの推進

- ・地域で生き生きと生活するために、支援を必要とする障がい者（児）に対して、必要な時に必要なサービスを自らの意思決定のもと利用できる体制を整備します。
- ・社会参加しやすい機会を増やすため公共施設の割引を推進し、ミライロID（障がい者手帳アプリ）の活用を推進します。
- ・障がい者の就労に関する関係機関の情報共有の場の設定を支援します。
- ・障がいの理解促進を図るため、事業者及び障がい者団体の活動を支援します。

### 分野別計画

天草市地域福祉計画・地域福祉活動計画、天草市障がい者計画

### 関連する SDGs ゴールマーク



### この政策が関連する『ありたい姿』

- 2. 多様性を認め合い、互いを尊重するまちになっている
- 10. 安心して子どもを産み育てる環境ができている

## 政策 2 2. スポーツ・運動の推進

### 現 状

- ・近年、スポーツ実施率は上昇しています。
- ・市内には約 90 団体の社会体育クラブが存在し、小学生のスポーツや運動の受け皿として活動が行われています。
- ・市内全域で、高齢者を中心とした 43 の健康運動教室を市主催で行っています。
- ・令和 4 年にスポーツコミッションを設立し、市民の健康づくりや競技力向上を図り、大会や合宿の誘致による地域活性化に取り組んでいます。
- ・スポーツ拠点施設の整備を行っています。  
(R5.7 に 400m 陸上競技場等が供用開始予定、  
R6.4 に本渡運動公園多目的広場（人工芝：サッカーコート 1 面）供用開始予定)

### 課 題

- ・市内小学生における体力・運動能力調査の数値が、熊本県平均と比較して劣っています。
- ・障がい者のスポーツ環境が整備されていないと思っている人が多い状況です。
- ・コロナ禍等により、健康運動教室参加者の退会者や休会者が増加しています。
- ・平成 29 年度以降、県民体育祭や郡市対抗駅伝の成績（競技力）が低迷しています。
- ・市内の多くのスポーツ施設は、経年劣化により老朽化が進んでいます。

### 施策計画

#### 1. 人・健康・体力づくりの推進

- ・市民一人ひとりが、ライフスタイルや目的に応じて、スポーツや運動に親しむことで生涯を通じた健康づくりを推進します。
- ・子どもたちはスポーツを通して体力の増進や仲間を思いやる心を育み、心身ともに健全でたくましい子どもを育てます。

#### 2. 地域・絆づくりの推進

- ・スポーツを通して人と人が結び付き、地域間の交流が促進され、地域の一体感や活力の醸成につながる取り組みを行います。
- ・スポーツを支えるボランティア（組織）を育成し、市民参画のもと様々な取り組みを行います。

#### 3. 大会・合宿誘致の推進と市民と来訪者が交流する機会づくり

- ・スポーツコミッションが中心となりスポーツ大会や合宿で多くの来訪者を呼び込み、市内の宿泊・観光産業と連携して地域活性化につなげます。また、市民とアスリートとの交流を図り、市民のスポーツに対する関心度を高めます。

#### 4. スポーツを支える基盤の整備

- ・競技力の向上に向けて、スポーツ協会等と連携して指導力の高い指導者を養成するほか、スポーツ科学の知見に基づいたサポート等により、競技力を高め心身ともに自律した選手を育成します。
- ・多様化するスポーツニーズに対応するスポーツ施設の整備・充実を図ります。
- ・スポーツ施設の劣化状況等を把握し、計画的な改修等を実施して長寿命化を図るとともに、安全に利用できる施設環境を整備します。
- ・多くの市民に対してスポーツ情報を提供し、スポーツに対する関心度を高めます。

#### 分野別計画

##### 天草市スポーツ推進計画

#### 関連する SDGs ゴールマーク



#### この政策が関連する『ありたい姿』

8. 多様な地域資源を生かし、魅力ある観光のまちがつけられている
10. 安心して子どもを産み育てる環境ができている

理念：やさしさと安心のまち

10. 安心して子どもを産み育てる環境ができている

政策 23. 子どもと子育て家庭への支援の充実

《関連する政策》

- 政策 1. 市民一人ひとりが役割を持って活躍する地域づくりの推進
- 政策 2. 様々な分野における市民活動の推進
- 政策 3. 男女共同参画社会の推進
- 政策 6. 次世代の担い手の育成
- 政策 8. 生涯学習の推進
- 政策 14. 商工業の振興と多様な働く場の創造
- 政策 18. 安心して医療、介護が受けられる体制の強化
- 政策 19. 地域福祉の充実、支援
- 政策 21. 障がい者（児）の自立と社会参画をめざした地域づくりの推進
- 政策 22. スポーツ・運動の推進



## ありたい姿 10. 安心して子どもを産み育てる環境ができている

### 政策23. 子どもと子育て家庭への支援の充実

#### 現 状

- ・子ども医療費の対象年齢の引き上げや保育料の軽減、不妊治療費の助成、妊産婦への生活支援及び幼稚園や保育園等における保育サービスの充実を図るなど、子育て支援の取り組みを進めています。
- ・子育てに関する相談内容は、一般的な育児に関する相談から家庭環境の問題などが複雑に絡み合った相談まで、内容が幅広く複雑で多岐にわたっています。
- ・相談体制の強化と窓口の明確化を図るため、子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点を複合施設こころすの同一フロア内に設置し、妊娠期から子育て期までを一体的に支援しています。
- ・妊娠届出や乳幼児健診などの機会をとらえて、すべての対象者に対して子育て支援プランを提案しています。

#### 課 題

- ・子育て支援は、利用する子育て家庭によってニーズが異なり、ひとり親世帯や特別な支援を要する子どもと子育て家庭等、妊娠期から子育て期にかけて、それぞれの課題に応じた支援が必要です。
- ・すべての子どもたちが心身ともに健やかに成長し、社会性を育み、夢や希望を持ち、目標に向かって自分の能力や可能性を伸ばすには、地域社会全体で子どもと子育て家庭を支え合う取り組みを進めていくことが必要です。

#### 施策計画

##### 1. 地域で支える子育て支援の推進

- ・すべての子どもと子育て家庭を、地域住民及び社会福祉事業所（社会福祉法人、NPO法人）等、市民との協働により社会全体で支えていく取り組みを推進します。

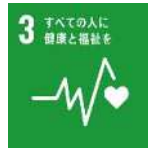
##### 2. 妊娠から子育てまで切れ目のない支援の充実

- ・妊娠、出産及び育児に関する不安や悩みを解消する取り組みや、子育てに係る負担軽減の取り組みにより安心して妊娠、出産、子育てができるよう支援の充実を図ります。

#### 分野別計画

天草市地域福祉計画・地域福祉活動計画、天草市子ども・子育て支援計画

関連する SDGs ゴールマーク



この政策が関連する『ありたい姿』

13. 天草での暮らしが共感され、多くの人が移住・定住している

理念：やさしさと安心のまち

1 1. 市民が安心して暮らせる環境ができている

政策 24. 機能的な生活基盤等の整備

政策 25. 良好なまちなみの形成

政策 26. 住環境の整備

政策 27. 持続可能な上下水道

政策 28. 情報化の推進

政策 29. 公共交通による移動利便性の確保

《関連する政策》

政策 18. 安心して医療、介護が受けられる体制の強化

政策 30. 災害に強いまちの形成

政策 31. 消防・救助・救急体制の充実

政策 32. 防犯対策・交通安全対策・消費者保護対策の推進

## ありたい姿 11. 市民が安心して暮らせる環境ができている

## 政策 2 4. 機能的な生活基盤等の整備

## 現 状

- ・国道及び県道は、各地域を結び観光並びに経済の面で重要な役割を果たしています。
- ・市道は、幹線道路と集落を結ぶ重要な生活道路として利用されています。
- ・天草全域の市道に橋梁 1,119、トンネル 17 が存在し集落を結ぶ重要な施設となっています。
- ・市民交通の安全性向上のため、交通安全施設の整備や補修を実施しています。
- ・利便性・安全性控除のため、生活道路等の改良や維持補修を実施しています。
- ・一部の市道については、市道清掃ボランティア支援事業で市民の自発的な活動により、安全で快適な道路環境を整備しています。
- ・本渡道路約 1.3 km が令和 4 年度末の開通予定となっています。
- ・国施工区間約 32 km のうち 24 km で事業中です。  
(熊本宇土道路 3.8 km + 宇土道路 6.7 km + 宇土三角道路 13.5 km)
- ・県施工区間約 38 km のうち 4.7 km で事業中です。  
(大矢野道路約 3.4 km + 本渡道路約 1.3 km)
- ・本渡道路終点(上島側)から上津浦インターまでのルートが現時点では未定となっています。
- ・市管理河川は 637 河川、延長約 608 km あり、維持管理や改修工事などは、集落地やその周辺部を優先的に実施しています。
- ・市管理港湾は 20 港あり、主に水陸交通の物流・人流の連絡拠点として利用されています。
- ・海岸保全施設は、高潮・波浪等の災害から人命等を守る施設となっています。
- ・近年の異常気象による浸水被害や土砂災害等が増加しており、災害の発生を最小限にとどめるべく河川・道路等各公共施設の日常的な維持管理を適切に行うとともに、災害時の迅速な現場対応を図るべく各関係機関の協力のもと、大規模災害時の支援活動等の協定を締結するなどの取組を推進している。

## 課 題

- ・国道及び県道の整備、生活拠点間主要市道の改良や重要構造物（橋梁・トンネル等）の補修については、市民の要望や期待度は高く、長寿命化計画を基に整備を進めていますが十分な対応ができていない状況です。
- ・交通安全施設は、経年劣化による老朽施設が多く、計画的な整備更新が課題となっています。
- ・生活道路等の改良や維持補修については、市民の要望や期待度は高いものの、一度に実施できないため、十分な事業進捗が図られていない状況です。
- ・市道清掃ボランティア支援事業では、人口の減少や高齢化によって、今後取組団体の減少が懸念されます。
- ・天草地域は熊本都市圏と県内主要都市を 90 分で結ぶ構想では、県内唯一の未達成地域となっており、事業化された熊本天草幹線道路計画全線(約 70 km)の整備を加速化するためには、国・県への整備要望を継続する必要があります。

- ・天草地域は交通幹線ルートが限られており、緊急輸送機能を有した代替道路の確保が求められています。
- ・膨大な河川延長のため、豪雨時には道路への冠水により、交通機能が阻害される場合があります。
- ・港湾施設長寿命化計画及び定期点検診断により、港湾 328 施設のうち A 判定が 29 施設、港湾海岸保全施設 230 施設のうち A 判定が 42 施設となっています。今後は、この計画を基に点検・修繕等の維持管理に関する方針を定め、ライフサイクルコストの縮減を図る必要があります。
- ・大規模災害の発生では、被災状況から応急対応並びに復旧事業の実施においては、時間を要する場合があります、生活に支障となる道路等公共施設については、早急な対応が求められます。

## 施策計画

### 1. 陸上交通基盤の充実

- ・国県道の整備については、予算の確保に向けた要望活動の強化を図ると共に、交付金事業における市道改良については、予算の効率的な執行により事業進捗を図ります。
- ・重要構造物の補修については、長寿命化計画に基づき、計画的な事業進捗を図ります。
- ・生活道路等については、優先順位など考慮し、効率的に事業を実施します。
- ・ボランティア事業は、事務の簡素化や基準見直しの検討を行い、取り組みやすい制度の構築を目指します。
- ・熊本天草幹線道路の早期の全線開通に向け、積極的な要望活動を重ねていくとともに、地域の機運を高めるためのアピール活動に取り組みます。
- ・市民の生活に密着している道路等公共施設については、日常の適切な維持管理を図りながら機能保全に努め、災害防止を図ります。

### 2. 河川機能の充実

- ・豪雨時の氾濫防止対策のため、準用河川・普通河川において優先順位を付けて堆積土砂等の撤去を実施します。

### 3. 港湾施設の充実

- ・施設の安全性・利便性向上のため、長寿命化計画に基づき、優先順位を明確にし、事業に取り組みます。

## 関連する SDGs ゴールマーク



## この政策が関連する『ありたい姿』

12. 市民との協働による安心安全なまちづくりができています

## 政策 2 5. 良好なまちなみの形成

### 現 状

- ・都市計画マスタープラン、天草市景観計画、その他の関連計画と併せた効果的な都市施設の整備を行っています。
- ・土地利用の規制、誘導や多様な地域資源等を有効活用した良好なまちなみの形成に取り組んでいます。
- ・公園施設の老朽化及び維持管理を行っています。
- ・都市計画道路の整備を行っています。
- ・本市の海の玄関口である本渡港・牛深港周辺の環境整備に取り組んでいます。

### 課 題

- ・秩序ある適正な土地利用が必要です。
- ・都市計画道路、公園など都市施設を中心とした地域の活性化が必要です。
- ・天草市景観計画の啓発による景観意識の高揚が必要です。
- ・豊かな自然、歴史、文化など天草の特性を生かした、良好なまちなみ景観の創出が必要です。
- ・花いっぱい運動の推進によるまちなみの景観形成が必要です。
- ・地域協働による公園管理が必要です。
- ・都市計画道路整備事業の事業推進が必要です。
- ・本渡港、牛深港の周辺整備にあたっては、これからの在るべき姿を明確化し、計画的な事業展開が必要です。

### 施策計画

#### 1. まちなみの形成

- ・都市の骨格をなす都市計画道路の効果的な整備を促進します。
- ・土地利用の規制や誘導により、地域に適した取り組みを目指します。
- ・良好な景観形成及び住民意識の高揚を図ります。
- ・公園施設長寿命化計画に基づいた改修を行うことにより、安全性や利便性の向上を図ります。
- ・地域協働による公園施設の維持管理に今後も取り組みます。
- ・都市計画道路整備事業を完成させることにより、暮らしやすい安心安全なまちづくりを図ります。
- ・新たな動きの発信点となる施設を目指し、周辺環境を含めた本渡港・牛深港の整備に取り組めます。

### 分野別計画

天草市都市計画マスタープラン、天草市景観計画

関連する SDGs ゴールマーク



この政策が関連する『ありたい姿』

4. 歴史と文化を認め合い、天草に誇りを持ち継承されている

## 政策 2 6．住環境の整備

### 現 状

- ・天草市公営住宅等長寿命化計画に基づいて、長寿命化、安全性の確保、居住性の向上のための改修事業を実施しています。
- ・耐用年数が経過し老朽化が著しい住宅については、入居者の退去に伴い用途廃止（解体）、譲渡を行っています。
- ・持家の高齢化率が高いことから、自宅の老朽に伴い市営住宅への転居者が増えています。
- ・市営住宅の高齢者、子育て世帯等対応への改修整備が遅れています。
- ・平成 25 年度調査で 3,220 棟の空き家が報告されています。
- ・上記調査で 645 棟が危険家屋と判断されています。
- ・熊本地震をはじめ、大規模地震が頻発しています。
- ・昭和 56 年 5 月以前に建てられた耐震性が不明の建物が多数あります。

### 課 題

- ・昭和 55 年までの高度成長期に核家族、子育て勤労者世帯のために建設された市営住宅が 835 戸と全体の 46%を占めており、老朽化が進み耐用年数を経過した市営住宅が 481 戸と全体の 26.5%であることから、計画的なストック改修事業、用途廃止、建替えを行う必要性があります。
- ・地区によって人口減少、世帯数減少が顕著で市営住宅の必要性を考慮する必要があります。
- ・高齢者、子育て世帯に対応した改修事業への対策が必要です。
- ・年間 100 件程度の管理不適格家屋の相談を近隣住民より受けています。
- ・大規模地震の発生に備え、大規模盛土造成地では耐震性を早急に検証し、被害軽減を図る必要があります。
- ・耐震性の有無を診断する必要があります。
- ・耐震性が無い場合、補強若しくは建替える必要があります。

### 施策計画

#### 1. 公営住宅等の管理

- ・天草市公営住宅等長寿命化計画に基づき、公営住宅の改修事業及び用途廃止等を実施します。

#### 2. 建物の耐震化

- ・地震ハザードマップの配布による地形や地盤状況の周知を行います。
- ・耐震診断・改修・建替えに係る経費の補助を行います。



### 3. 空き家対策

- ・老朽危険家屋等解体補助を行います。
- ・管理不適格家屋所有者への適正管理の通知を行います。
- ・移住定住政策との連携による空き家の有効活用を図ります。

#### 分野別計画

天草市住宅マスタープラン、天草市建築物耐震改修促進計画、天草市空家等対策計画

#### 関連する SDGs ゴールマーク



#### この政策が関連する『ありたい姿』

13. 天草での暮らしが共感され、多くの人に移住・定住している

## 政策 27. 持続可能な上下水道

### 現 状

- ・人口減少、節水機器の普及による使用水量が減少しています。
- ・物価上昇により維持管理費が増大しています。
- ・施設の老朽化により更新時期が到来しています。
- ・上下水道ともに地方公営企業会計で合理的な経理を実施しています。
- ・過疎化、少子化の進行により料金収入が減少しています。
- ・ライフラインに影響を及ぼす大規模自然災害が増加しています。
- ・地下水や沢水・湧水などを利用している地域があります。

### 課 題

- ・事業を維持するため収入の確保が必要です。
- ・施設の老朽化及び耐震化に伴う設備投資が必要です。
- ・今後増加する施設の更新に伴い、職員の育成と水道技術の継承が必要です。
- ・大規模自然災害に備えるため、耐震・耐水化の対策が必要です。
- ・施設の老朽化に伴う更新計画の定期的な見直しと適切な実施が必要です。
- ・上水道による給水が困難な地域は、水質異常や水不足への対策が必要です。

### 施策計画

#### 1. 暮らしを守る水道の整備

- ・計画的な老朽管布設替えに合わせ耐震化を進めます。
- ・災害に強いライフラインの整備を進めます。
- ・上水道による給水が困難な地域は、小規模水道施設整備補助事業により暮らしの水を確保します。

#### 2. 適正な施設更新の実施

- ・施設の老朽化に伴う更新計画に基づき施設の整備を行います。
- ・補助金や交付金を活用し、更新財源の確保に努めます。

### 分野別計画

天草市水道事業ビジョン

### 関連する SDGs ゴールマーク



この政策が関連する『ありたい姿』

12. 市民との協働による安心安全なまちづくりができています

## 政策 28. 情報化の推進

### 現 状

- ・情報通信環境格差解消のため、ADSLのみの通信環境となっている地域の、光ファイバー整備を行っています。
- ・情報通信環境格差解消のため、市で整備した光ファイバーの空き芯貸出しを、通信事業者等へ行っていきます。
- ・天草市コミュニティFMの難聴対策のための整備を行っています。

### 課 題

- ・維持管理費等への懸念から、これまでの情報通信基盤整備の対象から外れた点在する世帯の整備が必要です。
- ・情報通信基盤整備がどうしてもできない世帯へ、光ファイバーに代わる手段の整備が必要です。
- ・これまでの情報通信基盤整備の対象とならなかったケーブルテレビインターネット（同軸）エリアの光ファイバー整備が必要です。
- ・整備された情報通信基盤を、地域課題解決のためどのように利活用するのか検討が必要です。
- ・天草市コミュニティFMの難聴対策を行ったが、地形によっては電波の受信しにくい地域が未だに存在しています。

### 施策計画

#### 1. 情報通信環境の整備

- ・光ファイバーによるインターネット環境を整備する事業者を支援し、環境の整備を図っていきます。
- ・維持管理費等への懸念から整備ができない地域への支援を行います。

#### 2. 天草市コミュニティFMの難聴対策

- ・様々な手段での情報取得が容易にできるよう、難聴地域の解消に向け、更なる対策を行います。

### 分野別計画

天草市地域情報化計画

### 関連する SDGs ゴールマーク



### この政策が関連する『ありたい姿』

12. 市民との協働による安心安全なまちづくりができています

## 政策 29. 公共交通による移動利便性の確保

### 現 状

- ・市内には、路線バス、コミュニティバス、タクシー、フェリー、旅客船、海上タクシー、飛行機などの多様な交通機関があり、通勤・通学・通院、買い物などの日常生活において、必要不可欠な公共交通として、重要な役割を担っています。
- ・海に囲まれる天草地域では、産業や観光、地域振興のほか、地域医療に必要な医師の確保にも、フェリーや飛行機などの公共交通が寄与しています。
- ・急速に進む人口減少や少子高齢化による利用者の減少、運転手・操縦士等の人材不足、バスやタクシーなどの車両やフェリー、航空機体の老朽化など、公共交通を取り巻く環境は、さらに厳しい状況になりつつあります。

### 課 題

- ・人口減少や少子高齢化により利用者が減少する中で、公共交通の維持確保とともに、地域の移動ニーズに即した持続可能な公共交通ネットワークの構築が求められています。
- ・市民の公共交通に乗って守るという意識を醸成することで、利用者の維持・増加を図る必要があります。

### 施策計画

#### 1. 多様な交通サービスの連携による持続可能な公共交通の維持確保

- ・広域拠点（本渡）と地域拠点（牛深）、生活拠点（五和・新和・河浦・天草・有明・栖本・倉岳・御所浦）をつなぐ公共交通の維持確保を図ります。
- ・多様な交通サービスの組み合わせにより、各生活圏域内の移動ニーズや地域の実情に応じた公共交通施策を展開します。

#### 2. 行政・交通事業者・市民等の協働による公共交通の利用促進

- ・乗って守る公共交通への意識を高めるため、住民への周知啓発や利用者の増加・維持につながる取組みを、交通事業者と連携して推進します。

### 分野別計画

天草市地域公共交通網形成計画

### 関連する SDGs ゴールマーク



理念：やさしさと安心のまち

12. 市民との協働による安心安全なまちづくりができています

政策 30. 災害に強いまちの形成

政策 31. 消防・救助・救急体制の充実

政策 32. 防犯対策・交通安全対策・消費者保護対策の推進

《関連する政策》

政策 1. 市民一人ひとりが役割を持って活躍する地域づくりの推進

政策 2. 様々な分野における市民活動の推進

政策 3. 男女共同参画社会の推進

政策 19. 地域福祉の充実、支援

政策 24. 機能的な生活基盤等の整備

政策 27. 持続可能な上下水道

政策 28. 情報化の推進

ありたい姿 12. 市民との協働による安心安全なまちづくりができています

## 政策30. 災害に強いまちの形成

### 現 状

- ・近年の異常気象による浸水被害や土砂災害等が増加しています。
- ・土砂災害及び浸水の想定区域や避難所等を表示した総合防災マップを作成、全戸配布しています。
- ・天草市一斉避難訓練及び地域独自の避難訓練等を実施し、防災講話や実技指導へ市職員・消防署員・熊本県職員等を派遣しています。
- ・防災行政無線の整備（戸別受信機含む）により本庁での一体的な運用と全国瞬時警報システム（J-ALERT）との自動接続を行っています。
- ・業務継続計画（BCP）に基づき、災害発生時であっても優先的な業務を特定し、適切な業務執行ができています。

### 課 題

- ・災害時には多重多様な情報伝達手段を用いて、災害情報や避難情報等が市民に確実に届き、情報発信漏れや逃げ遅れ等を防ぐ必要があります。
- ・大規模災害時には、行政の対応には限界があり、自助・共助の取り組みと支援体制の充実が求められています。
- ・自主防災組織を中心とした地域の防災力を高める必要があります。

### 施策計画

#### 1. 地域ぐるみの防災活動の推進

- ・防災行政無線戸別受信機の全戸設置や天草市安心・安全メールの登録、コミュニティFMの聴取等、全市民があらゆる情報収集手段を取得できるよう広報等に取り組みます。
- ・一斉避難訓練や独自訓練について、総合防災マップを活用した図上訓練及び実践的な訓練に取り組みます。
- ・自主防災組織活動充実のため、防災リーダーを育成し、地域防災力の向上を推進します。

#### 2. 災害時の支援体制の充実

- ・災害時応援協定締結団体との連携強化を図るとともに、新たな分野の防災関係機関との応援協定締結を推進します。
- ・適宜、地域防災計画の見直しを行うとともに、業務継続計画（BCP）の定期的な見直しも行い、また、訓練を通して計画の充実を図っていきます。

### 分野別計画

天草市地域防災計画

関連する SDGs ゴールマーク



この政策が関連する『ありたい姿』

11. 市民が安心して暮らせる環境ができている

## 政策 3 1. 消防・救助・救急体制の充実

### 現 状

- ・消防、救急、救助業務を行う天草広域連合消防本部の各消防署庁舎や資機材、車両の整備等の経費負担を行っています。
- ・消防団員は、市民の生命、身体、財産を火災や災害から守ることと、団員としての質の向上を目的として、各種訓練を計画的に実施し、必要な知識・技術習得の研鑽に努めています。
- ・消防格納庫、防火水槽、消火栓を整備し、初期消火の体制の強化を行っています。

### 課 題

- ・地域の消防・防災の要である消防団員数が減少傾向にあり、入団促進と活動しやすい環境整備を行っていく必要があります。
- ・資機材等の更新、防火水槽や格納庫の整備など、消防施設の充実強化は、迅速な初期消火活動及び防火活動に必要不可欠であり、今後も計画的に進めることが必要です。

### 施策計画

#### 1. 消防・救助・救急体制の整備

- ・消防団員の確保については、活動への事業所の理解と協力を得るため、消防団による地域事業所訪問を行い、従業員の勧誘活動に取り組みます。
- ・消防設備、資機材については、更新や修繕、改修等による計画的な整備を図るとともに、定期的な点検を行うことによる長寿命化に取り組みます。
- ・天草広域連合消防本部と連携し、消防・救助・救急体制の強化に取り組みます。

### 分野別計画

天草市地域防災計画

### 関連する SDGs ゴールマーク



### この政策が関連する『ありたい姿』

11. 市民が安心して暮らせる環境ができている



## 政策 3 2. 防犯対策・交通安全対策・消費者保護対策の推進

### 現 状

- ・犯罪のないまちづくりを目指し、防犯に対する様々な事業を展開しており、犯罪認知件数は減少傾向で推移しています。
- ・交通事故防止を図るため、交通安全に対する様々な事業を展開しており、交通事故件数は減少傾向で推移しています。
- ・消費者被害の未然防止と救済に向け、市民が気軽に消費生活相談を受けられるよう天草市消費生活センターを設置し、複雑・多様化する消費生活問題を解決するための支援を行っています。

### 課 題

- ・依然として空き巣や窃盗等の街頭犯罪・侵入犯罪が一定数発生しているため、犯罪抑止に向けたパトロール及び見守り体制の強化が必要です。
- ・薄暮時における無灯火車や、店舗等の駐車場内における物損事故、横断歩道の一時停止義務違反など、人身事故につながりかねない事案への対策が必要です。
- ・年々悪質巧妙化している消費者詐欺の被害防止のため、年代にあった効果的な周知・啓発並びに支援体制の充実を図る必要があります。

### 施策計画

#### 1. 防犯対策の推進

- ・防犯協会と連携し、防犯ボランティア団体の結成や充実に向けた支援を行います。
- ・関係機関（警察署、防犯協会、地区振興会、防犯ボランティア団体等）との連携を強化し、犯罪の未然防止に努めます。
- ・防犯カメラの普及促進並びに天草市安心・安全メールや市広報誌等を活用し、防犯情報の発信と普及活動に努めます。
- ・行政区への防犯灯設置支援並びに学校通学路への防犯灯の設置により、夜間における犯罪、事故等の未然防止及び安心・安全の向上を図ります。

#### 2. 安全な交通環境の充実

- ・交通事故を防止するため、参加・体験・実践型の交通安全教育の推進に取り組みます。
- ・歩行者及び通行車両の安全確保及び事故防止を図るため、反射材用品等の普及に努めます。
- ・関係機関（警察署、交通安全協会、安全運転管理者等協議会等）との連携を強化し、地域に根差した交通安全の各種課題の解決に取り組みます。
- ・交通安全施設は、「通学路安全対策連絡協議会」との連携により、通学路の整備を進め児童生徒、地域住民の安全性の向上に努めます。

### 3. 消費者保護の推進

- ・年々悪質巧妙化する消費者被害の未然防止と救済に向け、関係機関と情報の共有化を図り、消費者トラブルにあわないための啓発活動及び消費生活全般にわたる相談受付や助言を行います。
- ・配慮を要する高齢者等の被害防止と救済活動のため、関係機関と連携して見守り支援体制の充実を図ります。
- ・弁護士無料法律相談会を開催し、多重債務問題や法律上の悩みを抱える市民の不安解消に努めます。

#### 分野別計画

天草市交通安全計画

#### 関連する SDGs ゴールマーク



#### この政策が関連する『ありたい姿』

11. 市民が安心して暮らせる環境ができている

理念：やさしさと安心のまち

13. 天草での暮らしが共感され、多くの人に移住・定住している

政策 33. 移住・定住の促進

《関連する政策》

政策 14. 商工業の振興と多様な働く場の創造

政策 23. 子どもと子育て家庭への支援の充実

政策 26. 住環境の整備

ありたい姿 13. 天草での暮らしが共感され、多くの人が移住・定住している

### 政策33. 移住・定住の促進

#### 現 状

- ・田舎暮らしに憧れ、地方への移住を希望する人が増加しています。
- ・漠然と移住を考える段階から移住先の検討を進める傾向が高まっています。
- ・都市部の企業においては、テレワークやワーケーションなどを推進しています。
- ・都市住民との交流により地域活性化が図られています。
- ・空き家等情報バンク制度の推進により、空き家が有効活用されています。
- ・自然環境に加え、子育て支援策の充実など本市の施策が移住を決定する魅力となっています。

#### 課 題

- ・空き家等情報バンクに登録する空き家等の物件確保が必要です。
- ・住まいや就労など多様化する移住相談への対応が必要です。
- ・増加する移住相談への対応が必要です。
- ・移住後に地域に溶け込むための支援が必要です。

#### 施策計画

##### 1. 受入れ体制の充実とつながりの深化による移住・定住の推進

- ・都市部等における移住関連イベントへの参加や市独自の移住セミナー、移住体験ツアーを開催します。
- ・移住・定住コーディネーターによるきめ細かな相談対応と業務の効率化を図るためのシステム化に取り組みます。
- ・AIやSNSの活用、相談記録等のシステム化による相談体制の充実に取り組みます。
- ・空き家等情報バンクへの登録を促すための周知徹底による登録物件の確保に取り組みます。
- ・「ハローワーク」や「ジョブカフェ・天草ランチ」と連携した求人情報の提供に取り組みます。
- ・移住に関連する施策を展開する部署と連携した情報発信に取り組みます。
- ・移住・定住サポーター登録者の増加による移住後のフォロー体制の充実を図ります。
- ・移住漠然層に情報を届けるため、ふるさと住民登録の推進と関係人口の取り組みの充実を図ります。

#### 分野別計画

天草市移住・定住促進計画

関連する SDGs ゴールマーク



この政策が関連する『ありたい姿』

5. 良質な農林水産物が生産され、産地力（生産者数×量）が維持・向上されている
6. ひとつづくり・ものづくりで郷土にやりがいを感じ、働ける場所がある

理念：自然と共生するまち

14. 脱炭素社会への取り組みが浸透し、人と自然が共生し活発な環境保全活動が行われている

政策 34. 脱炭素社会の実現と自然環境の保全・共生

《関連する政策》

- 政策 1. 市民一人ひとりが役割を持って活躍する地域づくりの推進
- 政策 2. 様々な分野における市民活動の推進
- 政策 6. 次世代の担い手の育成
- 政策 7. 大学等との連携
- 政策 8. 生涯学習の推進
- 政策 11. 活力ある持続可能な地域農業の振興
- 政策 12. 林業の活性化による健全な森林整備
- 政策 13. 資源を生かした持続的な水産業の振興

**ありたい姿** 14. 脱炭素社会への取り組みが浸透し、人と自然が共生し活発な環境保全活動が行われている

## 政策34. 脱炭素社会の実現と自然環境の保全・共生

### 現 状

- ・地球温暖化に伴う気候変動により、温室効果ガスの削減に対する市民の意識や関心が高まっています。
- ・太陽光発電による再生可能エネルギーの導入が増えています。
- ・早崎海峡海域には、漁業者と共存した野生のイルカが生息しています。
- ・海、川、山などの豊かな自然に、多種多様な生物が生息・生育しています。
- ・自然環境を守るため、環境保全活動が行われています。

### 課 題

- ・地球温暖化対策防止に向けた温室効果ガスの排出量を削減するための具体的な取り組みを行う必要があります。
- ・豊かな自然を地域の財産として後世に引き継いでいくため、環境保全活動に取り組む必要があります。

### 施策計画

#### 1. 脱炭素社会の実現

- ・再生可能エネルギーの導入促進を図るため、住宅用太陽光発電システム及び蓄電システムの設置を推進します。
- ・大規模太陽光、風力、水力、バイオマス等の発電システムについても、官民一体となって環境にやさしいまちづくりを進めます。
- ・省エネルギーやエネルギーの地産地消を推進するとともに、森林・里地里山の保全再生に取り組み、温室効果ガスの排出抑制を図ります。
- ・市が率先して、電気や水の節約、冷暖房のこまめな調節を推進します。

#### 2. 自然環境保全活動の推進

- ・動植物、生態系、水資源などの自然環境の保全または創造に関する里地・里山・里海づくり等の各施策について、他の部門の政策、施策計画と連携を図りながら、総合的かつ計画的に実施します。
- ・各種団体等と連携を図り、学びの場を広げるとともに、市民等が自主的に実施する環境美化活動を推進します。

### 分野別計画

天草市環境基本計画、天草市一般廃棄物処理基本計画

関連する SDGs ゴールマーク



この政策が関連する『ありたい姿』

8. 多様な地域資源を生かし、魅力ある観光のまちがつくられている



理念：自然と共生するまち

15. 資源の循環が図られ、快適なまちづくりが行われている

政策 35. 快適な生活環境の充実

《関連する政策》

- 政策 1. 市民一人ひとりが役割を持って活躍する地域づくりの推進
- 政策 2. 様々な分野における市民活動の推進
- 政策 11. 活力ある持続可能な地域農業の振興
- 政策 12. 林業の活性化による健全な森林整備
- 政策 13. 資源を生かした持続的な水産業の振興

ありたい姿 15. 資源の循環が図られ、快適なまちづくりが行われている

## 政策 3 5. 快適な生活環境の充実

### 現 状

- ・工事等に伴う騒音・振動や、悪臭、空き地に繁茂した雑草に関する事など生活環境に影響を及ぼす相談が多数寄せられています。
- ・野良猫、野犬等による生活環境被害の相談と併せて、ペット飼育者のマナーに関する事など、動物に関する苦情や相談が多岐に渡り寄せられています。
- ・環境美化推進員による分別指導や環境学習の実施、各種メディアによる周知啓発により市民の環境に対する意識や関心は高まっていますが、不法投棄が後を絶ちません。
- ・少子高齢化などの影響による人口減少が進む中、ごみの総排出量は減少していますが、1人1日当たりのごみ排出量及び資源化率については横ばいで推移しています。
- ・環境施設等については、老朽化が進むなか、補修等を行い施設の長寿命化を図っています。

### 課 題

- ・騒音・振動・悪臭などの公害については、各法令に照らし対応し、また、住宅地等における雑草繁茂については、所有者に適正管理をお願いしているが、市外在住者等については、対応が困難な場合もあります。
- ・ペット飼育者のマナー指導については、強制力がないため、注意するに留まっており、引き続き飼育者へ対し意識啓発を行い、周囲へ配慮する意識を高めていく必要があります。
- ・自然景観及び環境に悪影響を及ぼす不法投棄への防止対策や不法投棄物の回収により、生活環境の保全及び良好な自然景観の維持に努める必要があります。
- ・ごみの減量・資源化は、廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用いわゆる3Rを基本とする取り組みなどの環境教育を推進し、広く市民へ周知・啓発を図ることで「ゼロ・エミッション」の取り組みをさらに進める必要があります。
- ・環境施設については、施設の老朽化も進行しており、計画的な改修や更新を行う必要があります。

### 施策計画

#### 1. 生活環境の充実

- ・ペット飼育者のマナー向上のための啓発を推進します。また、獣医師会と協力し、避妊・去勢手術の取り組みを推進し、さらに、狂犬病の発生・まん延を防ぐため、予防注射の接種率の向上に努めます。

- ・マイクロプラスチック等の環境問題に対応するため、ごみのポイ捨て防止を促す啓発活動やごみステーションによる効率的な回収活動を実施するとともに、マイバック、マイボトル持参の推進を図るなど、市民と行政が一体となって環境美化に取り組みます。
- ・公衆衛生施設の快適な利用に向けて適正な運営を図るとともに、耐用年数を迎えている施設については、設備等の定期的な点検結果をもとに、改修を行い施設の長寿命化を図ります。

## 2. ごみ減量化・資源化の推進と循環型社会の実現

- ・各種団体等への3R（発生抑制・再使用・再生利用）を基本とする環境学習を通じた啓発活動に努めます。
- ・各種メディアによる周知活動により市民の環境に対する意識向上に努めます。
- ・生ごみ処理容器等設置及び資源物回収活動団体への支援を行うとともに、美化推進員等との連携を強化します。
- ・事業系の一般廃棄物の分別・収集と資源化の徹底を図ります。
- ・美化推進委員など市民の方々と協働してプラスチックごみの排出抑制やプラスチックごみの資源化の取り組みを推進します。
- ・環境施設等については、計画的な補修等を行い、施設統合を見据えた維持管理を行ないます。

### 分野別計画

天草市環境基本計画、天草市一般廃棄物処理基本計画

### 関連するSDGs ゴールマーク



理念：自然と共生するまち

16. 豊かな自然と向き合い、保全・活用する仕組みができている

政策 36. 自然資源を活用した地域の魅力向上

《関連する政策》

政策 9. 芸術文化の振興と歴史文化の保存・継承

政策 10. 世界遺産とキリシタン史の保存・活用

政策 16. 魅力ある観光の創造

ありたい姿 16. 豊かな自然と向き合い、保全・活用する仕組みができている

## 政策36. 自然資源を活用した地域の魅力向上

### 現 状

- ・恐竜等の化石をはじめとする学術的な調査・研究は、確実に進んでおり、世界的にも貴重な化石等の情報発信を行っています。
- ・市民を対象に出前講座や出前授業による教育普及活動を行っています。
- ・自然資源を活用し活動を行っている団体に対し、学術的支援を行っています。

### 課 題

- ・天草における豊かな自然資源の認知度向上が求められています。
- ・市民、関連団体、行政が連携し、豊かな自然資源を活用した取り組みを推進していくことが重要です。

### 施策計画

#### 1. 「海にうかぶ博物館あまくさ」活動の推進

- ・天草の風光明媚な島の景観と豊かな生態系の魅力ある自然資源を活かし、学校や地域での出前授業や出前講座による教育普及活動の充実を図ります。
- ・天草の自然資源を活用している団体への学術的な支援活動を推進し、豊かな島の自然の魅力向上を図ります。
- ・恐竜化石や生態系の多様性など、学びの場としての豊富な素材を活かし、教育普及活動を推進するとともに、情報発信及び地域交流の拠点として御所浦恐竜の島博物館を整備します。
- ・博物館開館に向け官民が一体となって受け入れ体制を構築し、持続可能な仕組みづくりに取り組みます。

### 分野別計画

『海にうかぶ博物館 あまくさ』活動計画

### 関連するSDGs ゴールマーク



この政策が関連する『ありたい姿』

8. 多様な地域資源を生かし、魅力ある観光のまちがつけられている

**理念：挑み続ける行政経営**

17. あらゆる社会変化に対応した行政運営ができています

政策 37. 効率的かつ効果的な行政運営

政策 38. 組織力・職員力の強化

《関連する政策》

政策 39. 安定した財政運営の推進

ありたい姿 17. あらゆる社会変化に対応した行政運営ができています

## 政策 3 7. 効率的かつ効果的な行政運営

### 現 状

- ・「市民参画推進の手引き」を活用し、政策の立案、実施及び評価の各段階への市民の参画に取り組んでいます。
- ・広報紙、ホームページ、コミュニティFM、ケーブルテレビ、SNSなどで市政情報の発信に取り組んでいます。
- ・平成 27 年度から総合計画を核とした各種システムが連携したトータルシステムを運用しています。
- ・マイナンバーカードの取得促進に取り組んでいます。
- ・オンライン手続きの推進のため、申請書の押印廃止に取り組んでいます。
- ・各種証明書のコンビニ交付サービスを開始しています。
- ・市税等において、キャッシュレスで納付できる仕組みを開始しています。
- ・行政文書や市のあゆみがわかる歴史公文書・地域資料の整理に取り組んでいます。

### 課 題

- ・多くの市民に行政運営に参画できる機会の提供が必要となっています。
- ・更なる行政サービスの効率的かつ効果的な行政運営が必要となっています。
- ・各媒体を使いながら、わかりやすい市政情報等の積極的な発信を更に進め、市民へ届いているかを把握していく必要があります。
- ・多様化する市民ニーズを的確に把握し、反映させた行政運営が必要となっています。
- ・市民サービスの向上のため、市民が市役所に行かなくても完了する行政手続きを増やしていく必要があります。
- ・マイナンバーカードを必要とするオンライン手続きが増えることが予想されることから、更なるマイナンバーカードの取得促進を図る必要があります。
- ・使用料や手数料がオンライン等で支払える仕組み（キャッシュレス決済など）の導入が求められています。
- ・様々な市政等の情報資源を簡単に取得できる仕組みを構築する必要があります。

### 施策計画

#### 1. 行政運営への市民参画の推進

- ・市民のだれもが気軽に行政運営に提案できる仕組みづくりに取り組み、政策等の立案や実施及び評価の各段階への市民の参画を求め、市民と行政の共創を図っていきます。
- ・市民の意見を集約した行政運営ができるよう職員の意識向上を図っていきます。
- ・行政は情報をわかりやすく伝える方法や、様々な媒体を活用した情報発信に取り組めます。

## 2. トータルシステムに基づく行政運営

- ・総合計画を核とした行政システム※のトータルシステムの改善を図り、更なる効率的かつ効果的な行政運営を推進します。

※「行政システム」とは、総合計画や予算編成、行政評価などの仕組み・制度のことです。

## 3. 業務改善の推進

- ・業務プロセスの抜本的な見直しを含め行政事務のDX（デジタルトランスフォーメーション）※を推進します。

※「DX（デジタルトランスフォーメーション）」とは、モノやサービスがデジタル化により便利になり効率化された結果、デジタル技術が浸透するまでには実現できなかった新たなサービスや価値が生まれる社会やサービスの変革を意味します。

- ・効率的な行政サービスの維持と財政支出の削減に向け、アウトソーシングを推進します。

## 4. 行政手続き等の効率化・簡素化とデジタル化の推進

- ・マイナンバーカードの取得促進を図ります。
- ・行政手続きのDXを推進します。
- ・市役所に行かなくても手続きができる行政手続きのオンライン化を推進します。
- ・使用料及び手数料のキャッシュレス決済の導入を推進します。
- ・業務効率化のため、オンライン申請データの自治体情報システムとの自動連携（エンドトゥエンド接続）及び、自治体情報システムの標準化・共通化を推進します。

### 分野別計画

天草市行政経営改革大綱

### 関連するSDGs ゴールマーク



### この政策が関連する『ありたい姿』

18. 高い経営意識を持った財政運営ができている



## 政策38. 組織力・職員力の強化

### 現 状

- ・組織の枠を超えた横断的な連携を図りながら、機能的かつ効率的な組織体制の構築に取り組んでいます。
- ・退職の状況や年齢構成等を考慮しながら必要な人材を計画的に採用し、定員の適正化に努めています。
- ・効果的な研修を計画的に実施し、市民サービスの向上に寄与できる人材の育成に取り組んでいます。
- ・時間外勤務の縮減や休暇取得を促進するとともに、多様で柔軟な働き方の実現を図り、職員の能力を最大限発揮できる職場環境の整備に努めています。

### 課 題

- ・社会情勢に応じた効率的・効果的な組織体制の構築が必要です。
- ・必要な人材の確保及び適正な定員管理が必要です。
- ・職員一人ひとりの意識改革及び計画的な人材育成が必要です。
- ・適正な人事管理や職場内でのコミュニケーションの活性化が必要です。
- ・職員のワーク・ライフ・バランス実現のための職場環境づくりが必要です。

### 施策計画

#### 1. 組織の効率化と適正な定員管理

- ・現組織体制の課題の整理や見直しの必要性等を検証し、スリムで機動的・効果的な組織体制の確立を図ります。
- ・横断的・弾力的な部署間の連携を推進し、社会情勢に応じた行政組織の見直しを継続的に行うとともに、専門職を含めた人員の確保と適正な人員配置に努めます。
- ・将来を見据えた長期的な視点を踏まえ、計画的な定員管理に努めます。

#### 2. 職員の人材育成

- ・職員自らが主体的に能力開発に取り組み、新たな課題等にも積極的に挑戦できる人材の育成に取り組めます。
- ・人事評価制度を有効的に活用することにより、能力と実績に基づく人事管理の徹底を図り、職員の意識改革や能力開発、女性職員の活躍等を推進し、市民サービスの向上に寄与できる人材の育成に取り組めます。
- ・職員の経験及び意向等を把握し、施策や課題等に応じた適材適所の人事配置を行い、職員の仕事へのやりがいや意欲が向上する組織づくりに取り組めます。

#### 3. 職場環境の整備

- ・時間外勤務の縮減や休暇取得を促進するとともに、職員のワーク・ライフ・バランスの実現を図り、仕事と育児・介護を両立できる職場環境の整備に努めます。

- ・職員同士が日常的なコミュニケーションで活発に意見を出し合える組織風土を醸成し、風通しの良い働きやすい職場環境づくりに努めます。

### 分野別計画

天草市行政経営改革大綱

### 関連する SDGs ゴールマーク



### この政策が関連する『ありたい姿』

18. 高い経営意識を持った財政運営ができています

**理念：挑み続ける行政経営**

18. 高い経営意識を持った財政運営ができています

政策 39. 安定した財政運営の推進

《関連する政策》

政策 37. 効率的かつ効果的な行政運営

政策 38. 組織力・職員力の強化

政策 40. 市有財産の経営的な視点による管理運営の推進

ありたい姿 18. 高い経営意識を持った財政運営ができています

### 政策39. 安定した財政運営の推進

#### 現 状

- ・普通交付税の一本算定による交付額が減少しています。
- ・人口減少による税収が減少しています。

#### 課 題

- ・市税や普通交付税等の一般財源が減少しており、歳入に見合った予算規模での予算編成が必要となっています。
- ・人口減少や少子高齢化などの社会情勢に応じた職員定数及び公共施設等の適正化が必要です。

#### 施策計画

##### 1. 歳入の確保

- ・魅力ある返礼品の充実を図り、ふるさと納税寄附額の確保に努めます。
- ・企業への積極的な情報発信を行うとともに、企業版ふるさと納税寄附額の確保に努めます。
- ・市税等の収納率の維持（向上）に努めます。
- ・有利な地方債及び国県補助金の活用を図ります。
- ・遊休財産の売却・貸付収入など税外収入を確保に努めます。

##### 2. 施策の重点化・業務の効率化による歳出の見直し

- ・「行政経営改革大綱」により、財源の重点的かつ効率的な配分を図ります。
- ・公債費の後年度負担を増やさないように市債の借入額を公債費の元利償還額を超えない額とします。
- ・標準財政規模の20%以上の財政調整基金残高を維持します。

#### 分野別計画

天草市行政経営改革大綱

#### 関連する SDGs ゴールマーク



#### この政策が関連する『ありたい姿』

- 17. あらゆる社会変化に対応した行政運営ができています
- 19. 市有財産が効率的かつ効果的に活用されている

理念：挑み続ける行政経営

19. 市有財産が効率的かつ効果的に活用されている

政策 40. 市有財産の経営的な視点による管理運営の推進

《関連する政策》

政策 39. 安定した財政運営の推進

ありたい姿 19. 市有財産が効率的かつ効果的に活用されている

## 政策40. 市有財産の経営的な視点による管理運営の推進

### 現 状

- ・多くの公共施設を保有しています。
- ・保有する公共施設の老朽化が進んでいます。
- ・人口減少が進んでおり、施設の利用者数が減少しています。

### 課 題

- ・多くの施設において大規模改修や建替えの必要な時期となっています。
- ・施設の改修や更新で多額のコストがかかっています。
- ・利用が少ない施設や特定の利用者だけの施設があります。
- ・施設を廃止しても普通財産として残るため、将来的に解体費が必要です。

### 施策計画

#### 1. 公共施設等再配置・個別施設計画の着実な実行と計画に基づく施設の長寿命化の推進

- ・計画に沿って施設の統合、廃止を行っていきます。
- ・将来的に必要とする施設については、改修等の時期を定めた保全計画に基づいて長寿命化を図っていきます。
- ・計画の全体的な管理により各年度における投資的経費の平準化を図っていきます。

### 分野別計画

天草市行政経営改革大綱、天草市公共施設等総合管理計画

### 関連する SDGs ゴールマーク



### この政策が関連する『ありたい姿』

18. あらゆる社会変化に対応した行政運営ができている

第3次天草市総合計画 前期基本計画 部門別政策一覧

部門	番号	政策名
地域振興部門	1	市民一人ひとりが役割を持って活躍する地域づくりの推進
	2	様々な分野における市民活動の推進
	3	男女共同参画社会の推進
	22	スポーツ・運動の推進
	29	公共交通による移動利便性の確保
	33	移住・定住の促進
教育部門	4	人権教育及び人権啓発の推進
	5	多文化共生社会の実現
	6	次世代の担い手の育成
	7	大学等との連携
	8	生涯学習の推進
観光・文化部門	9	芸術文化の振興と歴史文化の保存・継承
	10	世界遺産とキリシタン史の保存・活用
	16	魅力ある観光の創造
	36	自然資源を活用した地域の魅力向上
産業経済部門	11	活力ある持続可能な地域農業の振興
	12	林業の活性化による健全な森林整備
	13	資源を生かした持続的な水産業の振興
	14	商工業の振興と多様な働く場の創造
	15	地産地消・地産他消の推進
保健・医療・福祉部門	17	健康寿命の延伸
	18	安心して医療、介護が受けられる体制の強化
	19	地域福祉の充実、支援
	20	高齢者の生きがいづくりの推進
	21	障がい者（児）の自立と社会参画をめざした地域づくりの推進
	23	子どもと子育て家庭への支援の充実
都市基盤整備部門	24	機能的な生活基盤等の整備
	25	良好なまちなみの形成
	26	住環境の整備
	27	持続可能な上下水道
	28	情報化の推進
生活環境・防犯防災部門	30	災害に強いまちの形成
	31	消防・救助・救急体制の充実
	32	防犯対策・交通安全対策・消費者保護対策の推進
	34	脱炭素社会の実現と自然環境の保全・共生
	35	快適な生活環境の充実
総務・企画部門	37	効率的かつ効果的な行政運営
	38	組織力・職員力の強化
	39	安定した財政運営の推進
	40	市有財産の経営的な視点による管理運営の推進